

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5

290
46

勤者教育資料
No.6

各國成人勞働者教育概況

協
調
會

始



290-46

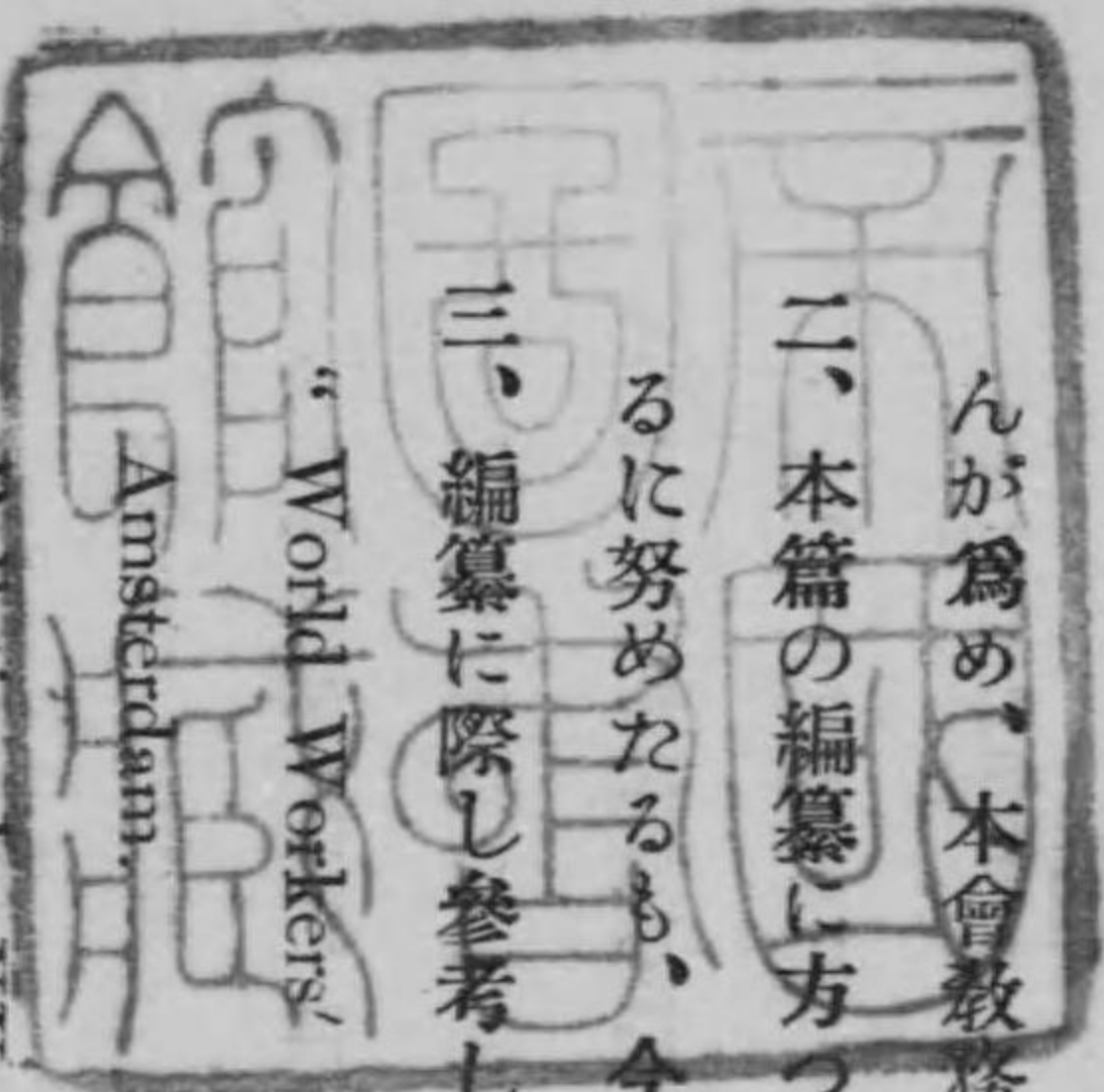
凡例

寄贈本

一、本篇は世界各国に於て現に行はれつゝある、成人労働者教育施設の概況を紹介せんが爲め、本會教務課囑託中野治雄の編纂したものである。

二、本篇の編纂に方つては、廣く各方面の資料を蒐集し、且可成最近の情勢を収録するに努めたるも、今後尙機を見て修正増補する見込である。

三、編纂に際し参考したる圖書の主要なるものは左の通りである。



大正
15. 7. 29
寄贈

"Bulletins I-XX VIII 1919-26," The World Association for Adult Education.

"The National Council of Labour College," The National Council of Labour College, 1924.

“Workers' Education in England and the United States,” Margaret T. Hodggen, 1925.

“Directory and Year Book of Adult Schools for 1921—22,” National Adult School Union.

“Adult Schools, their Aims and Methods, and How to establish them,” National Adult School Union.

“Die dänische Volkshochschule,” Prof. Dr. Rein.

“Volkshochschularbeit in Dänemark,” A. Porsen Ryslinge auf Fünen.

“Mitteilungen der Volkshochschule Gross-Berlin. 1920—22.”

大正十五年七月

協 調 會 教 務 課

目 次

一 英吉利

(1) 労働組合總會總評議會教育勸告委員會..... 一

(2) 労働者教育協會..... 三

(3) 労働者教育労働組合委員會..... 六

(4) ラスキン大學..... 九

(5) 全國労働大學評議會..... 一一

(6) プレイブス・リーグ(平民聯盟)..... 一四

(7) 労働大學(倫敦)..... 一五

(8) スコットランド労働大學..... 一七

(9) 大ブリテン及愛蘭協同組合聯盟..... 一九

(10)	労働者倶楽部及インスティテュート同盟	三
(11)	全国成人學校聯盟	三
(12)	其他の労働大學	二四
(一)	倫敦労働者大學	二四
(二)	ヴォガン記念大學	二五
(三)	女子労働者大學	二五
(四)	モレー大學	二五
(五)	チヨルレー労働者教育協會大學	二六
(六)	ファークロフト大學	二六
(13)	大學擴張講演	二七
(14)	世界成人教育協會	二八

二 佛蘭西

(1)	労働組合の施設	二九
(2)	労働組合以外の機關による施設	三一

三 獨逸

(1)	全国労働者教育本部	三四
(2)	大ベルリンの労働者教育	三五
(3)	獨逸金屬工組合の教育事業	三九
(4)	伯林民衆大學	四一
(5)	フンボルト民衆大學	四三

四 露西亞

(1)	露西亞労働組合教育事業	四四
-----	-------------	----

五 伊太利

		五〇
--	--	----

(1) ミラノ無産者大學……………五〇

(2) モンツァ無産者大學……………五三

六 白耳義……………五四

(1) 全國勞働者教育本部……………五四

七 西班牙……………五六

(1) 大學擴張講演……………五六

(2) 平民大學……………五九

(3) マドリッドの新學校……………六〇

八 奧太利……………六一

(1) 全國勞働者教育本部……………六一

(2) 公民教育會館……………六三

(3) 中央圖書館……………六五

(4) 維納公民大學……………六六

(5) 其他の教育機關……………六七

九 瑞西……………六八

(1) 瑞西全國勞働者教育本部……………六八

(2) 各勞働組合の教育事業……………七〇

一〇 和蘭……………七三

(1) 全國勞働者教育會創立委員會……………七三

一一 瑞典……………七四

(1) 全國勞働者教育本部……………七四

一二 諾威……………七九

(1) 國民學院聯合組合……………八〇

一三 丁抹……………八一

(1) 全國勞働者教育本部	八二
(2) 國際民衆大學	八五
(3) 民衆大學(國民高等學校)	八六
一四ツエツコスロヴァキア	八九
(1) プラীগ勞働學會	八九
(2) ツエツコスロヴァキア獨乙社會民主黨全國勞働者教育本部	九三
(3) ソーコール組合	九五
(4) 國民的諸協會	九六
(5) 大學擴張講演	九七
(6) 啓發聯盟	九八
一五波蘭	九九
(1) 勞働階級教育會	九九

一六ルクセムブルグ	一〇〇
(1) 全國勞働者教育本部	一〇〇
一七芬蘭	一〇二
(1) 全國勞働者教育本部	一〇二
一八支那	一〇五
(1) 公開講演	一〇五
(2) 圖書館及博物館	一〇六
(3) 成人學校	一〇七
(4) 其の成人教育機關	一〇九
一九印度	一〇九
(1) 印度に於ける勞働者教育の一事業	一一〇
二〇パレスタイン	一一一

(1) バレスタイン猶太労働同盟教育部……………二二

一一 濠太刺利……………二三

(1) ビクトリヤ労働大學……………二三

一二 亞米利加合衆國……………二五

(1) 労働者教育局……………二五

(2) 國際婦人服工組合……………一九

(3) ブルックウッド寄宿制労働大學……………二三

(4) 紐育ランド社會科學學校……………二五

(5) 其他の労働者教育機關……………二六

英 吉 利

一 労働組合議會總評議會教育勸告委員會

一 沿革 過去數年間、英國労働組合議會は、英國内に於ける労働者教育を、全國的組織計劃の下に統一するの適當なるを認め、此の目的のため一九二一年の議會に於て聯合教育委員會を設けたるが、該委員會は本問題に關する精細なる調査を遂げ、極めて内容豊富にして有益なる報告書を提出した。

然し、一九二三年のブリマウス議會に於ては、斯る大計劃は時機未だ尙早ではあるが、將來其通の目的と方策とを進むるために施設すべき重要な事業であると決議し、此の決議遂行のために、教育勸告委員會が設けられたのである。而して其の職分は次の四項になつてゐる。



- (一) 労働組合議會を通じて行はるゝ、労働組合運動に資すべき教育事業に關聯する方策の進歩を圖ること。
- (二) 既設の同種事業との連絡に努むること。
- (三) 労働組合に裨益せんが爲に教育事業を企てること。
- (四) 労働組合議會總評議會が勸告する如く、労働組合の教育問題を、國家的にも國際的にも處理すること。
- ブリマウス議會に於て、労働組合議會は又労働者教育事業の爲めに最高年額一千磅を支出し、且加入労働組合より此の目的のため、寄附金を募集するの權限を總評議會に與へた。

二 加入團體 教育勸告委員會は次の如き人々から成立してゐる。

- (一) 労働組合議會の代表者、五名、
- (二) 議會に加入し、其の組合員に對する教育事業に就て、明確なる計劃を有し、

又は之を實行せんとする各労働組合執行部の代表者、一名。

各代表者は、組合の對象とする當該職業に現に従事しつゝあるか、又は曾て従事せしものか、或は職業組合の法定會員たるかを要し、尙且指名當時、自己の職業に實際従事しつゝあるか、或は自己の労働組合の常任有給役員たるかの何れかに該當するを要す。

- ## 三 備考
- 教育勸告委員會は、現在ロンドン労働大學、ラスキン大學から各一名、全國労働大學評議會、協同組合教育委員會及労働者教育協會から各二名の代表者を以て組織されてゐる。

二 労働者教育協會

- 一 創立 一九〇三年。
- 二 加入團體 三十餘の労働組合、二十餘の教育團體及其他種々の教化團體。

労働組合中には、労働組合總聯盟、機關手及火夫聯合會、鐵道事務員協會、全國一般労働者組合、全國海員火夫組合、縫工衣服工合同組合、全國機關工組合（此縫工衣服工合同組合、全國機關工組合の二團體は目下労働者教育協會の代りに、全國労働大學評議會を支持してゐる）全國印刷工及助手組合、全國靴工組合等を含み、又教育及教化團體中には、殆ど總べての教師組合、労働者俱樂部及インスチテュート同盟、協同組合、成人學校聯盟等を含むのである。

三 財源 (一)篤志寄附金 (二)加入團體の醸出金 (三)文部省よりの授業補助金 (組織、宣傳、經營の爲には使用し得ざることを條件とす)。

本協會は一九二三——二四年度に於て一千九百磅の未拂債務を償却した。

四 非寄宿制労働大學 一ケ年制輔導學級 (Tutorial Class) の輔導講師養成のため、ホリー・ブルックハウスに學級を設けてゐる。

五 研究會 組織數四十四。

六 學級 四百の三ケ年制輔導學級 (論文提出の義務を課す)、六百五十の一ケ年制輔導學級 (任意に論文を提出せしむ)、合計一千五十學級。

之等の學級は、一ケ年十二乃至二十四週間、一週一回二時間の講義及討論を行ふ。

七 講演會 六回、八回乃至十回の短期連續講演會を開く。然し其の狀況についての統計は明かでない。

尙ほ之等講演會の在籍學生數は、一九二二年——二三年度には二萬二千七百四十八人であつた、一九二三年——二四年度には二萬五千人以上の見込である。

八 圖書館 學生の爲に中央圖書館が設けられてゐる。

九 地方支部 一九二二年——二三年度には四百十九。一九二三——二四年度には四百三十の地方支部があつた。

一〇 講師招聘 輔導講師は主として大學から招聘する。講師の報酬は、社會問題に興味を有する男女をして、此種の事業に参加せしむるを以て、僅に満足を與ふる

に過ぎない。故に輔導講師の大多數は労働運動に關係を有してゐる。

- 一 學生數 一九二三年には、三ヶ年制輔導學級、一ヶ年制輔導學級、單獨講演會を通して五萬人以上の數に達した。

三 労働者教育労働組合委員會

- 一 創立 一九二〇年。

- 二 加入團體 労働者教育労働組合委員會は、其の代表者を各々中央委員會に派遣する次の諸團體から成立してゐる。

- 一 鐵鋼業總聯合 代表者 七名
- 二 郵便局労働者組合 同 三名
- 三 鐵道事務員協會 同 三名
- 四 機關及造船製圖工協會 同 三名

- 五 全國印刷工及助手組合 同 一名

- 六 労働組合議會總評議會 同 一名

- 七 労働者教育協會 同 五名

- 三 財源 本委員會は、其の中央委員會に代表者を派遣するところの労働組合に依つて全部支持されてゐる。一九二二——二三年度に收入したる額は次の通りである。

- 鐵鋼業總聯合より 一、二二五磅 三志二片
- 郵便局労働者組合より 六〇七、一三、六
- 鐵道事務員組合より 二五〇、〇〇、〇
- 機關及造船製圖工協會より 三〇、〇〇、〇
- 合 計 二、一一二磅一六志八片

- 四 研究會 四十五の研究會あり。

- 五 學級 學級は主に労働組合の組合員のために設けられ、一九二三年——二四年

度には二千五百名の學生を收容した。

六 講演會 數多の講演會が開かれて居るが、之に關する統計は明かでない。

七 地方支部 全国各地に跨つて、十七の地方分區委員會がある。

八 講師招聘 大學輔導講師に依頼するか、又は勞働運動奉仕者より直接招聘す。

九 其他の活動 本委員會の主要な事業の一つとして週末學校(土曜學校)が開かれる。一九二二年——二三年度には二十三の週末學校が出資組合の組合員のため設けられた。

組合は之等の學校に對し、其の事情に應じて十二磅乃至二十四磅の補助をなしてゐる。學校に於ける出席者は二十四名乃至七十名を數ふ。

一〇 備考 本委員會の十七の地方分區主事が、勞働者教育協會の地方分區主事と同一であると云ふ點と、二團體の加入地區が同一であると云ふ點に於て、本委員會と勞働者教育協會とは互に協力してゐる事は明である。

本委員會の加入組合員にして、倫敦經濟學校に出席するものには月謝半減の特典がある。又一九二四年には夏期學校に對する獎學金を次の如く各組合に分配した。鐵鋼業總聯合四二人分、郵便局勞働者組合四〇人分、鐵道事務員組合二八人分、機關及造船製圖工協會一〇人分。

四 ラスキン大學(オックスフォード)

一 創立 一八九九年。

二 加入團體 本大學は、勞働組合議會總評議會、勞働組合總聯盟、協同組合、勞働者俱樂部及インスティテュート同盟を代表する評議會によつて管理されてゐる。尙ほ年額二十五磅以上を醸出する各勞働階級機關及團體は、毎年大學の評議會に所屬組合の代表者を派遣することが出来る。

三 財源 本大學の收入の約半額は、勞働組合及他の勞働階級團體の獎學金より得

らる。其他は文部省の補助、寄附金、贈與金（労働組合議會は年額二百五十磅を補助す）及休暇中夏期學校其他に教室賃貸料收入。

支出總額は略ほ六千磅である（負債利子を除く）。文部省の補助金は目下學生一人に付き十磅より十一磅に増額された。

四 寄宿制大學

ラスキン大學は寄宿制の組織である。一九二〇年には最も多く七十二名、一九二三年には五十一名の寄宿學生があつた。

入學希望者は澤山あるが、資金不足のため餘儀なく入學を拒絶してゐる。

學生は一ヶ年又は二ヶ年制の課程の何れかを選択す。大學の課程は討論を伴ふ講演、小人數の學級、讀書會、個人教授、毎週論文、讀書指導及學期末論文修正等からなつてゐる。

五 其他の活動

（一）白耳義労働大學との學生の交換。

（二）三、六、十二ヶ月の通信講義、設置以來一萬三千人以上の講習者を出し、現在

約五百人の學生が通信講義を受けてゐる。

全國印刷工及助手組合は、講義を受ける組合員のために、其の費用を支給してゐる。労働者俱樂部及インスティテュート同盟も亦通信教授を計劃中である。

（三）大學の職員及學生（現在及過去）以外の人々も、大學の目的に賛成する者は、誰でも校友會に加入することを許してゐる。

世人をして本大學を一層理解せしめ、且つ其の事業を遂行する爲めの團體が機會ある毎に全國到る處に設けられてゐる。

（四）カッセル・スケームとして知られてゐる奨學金が、三ヶ年間大學輔導學級に出席したる學生に對し、一定期間の研究のために今後與へられることになつてゐる。

五 全國労働大學評議會

一 創立 一九二一年。

二 加入團體 本評議會には、地方的又は全國的勞働大學が加入し、其中には倫敦勞働大學、スコットランド勞働大學、プレーブスリーグ、及約四十の勞働組合、九十一の地方勞働大學（非寄宿制勞働大學）を含むでゐる。

四十の勞働組合の中には、南ウエールス坑夫聯盟、全國建築工聯盟、全國鐵道従業員組合、全國集配人組合、合同建築工組合、家具工協會、ランカシャ坑夫協會、ダラム坑夫協會、合同染織工組合等が加入してゐる。
又地方勞働大學は、勞働評議會、勞働組合、勞働黨及社會主義團體支部、協同組合團體に依つて維持され且つ管理されてゐる。

三 財源 本評議會は収入の大部分を、勞働階級機關の加入金と、之等の機關特に勞働組合の爲に設けられたる教育事業に對する醸出金とに待ち、毫も國家の補助を
けず。

イギリス及スコットランド勞働組合議會からは寄附を得てゐる。

四 寄宿制大學 倫敦勞働大學（別項參照）

五 學級其他 本評議會は、勞働組合の教育的計劃を遂行する上に於て、専門的の役目を務むるものであつて、其の學級は一般に成人勞働者特に勞働組合員の爲に設けられてゐる。

其他、數百の地方勞働階級機關及二十以上の勞働組合の爲めに教育事業を行ふ。

六 在籍學生 一九二三年——二四年には、一萬六千九百八十五人であつた。

七 研究會 ある程度迄は研究會も組織されてゐる。

八 講演會 (一)一般公衆 (二)勞働組合主義者 (三)罷業勞働者及失業勞働者の爲に講演會を開催す。

九 圖書館 諸所に小圖書館がある。然し一般的の圖書館とは類を異にしてゐる。

一〇 地方支部 本會は九十一の地方勞働大學及地方本部を有してゐる。其中には
廣い地域に亘つて學級を經營してゐるものもある。

- 一 講師招聘 労働運動奉仕者より。
- 二 協同組合團體 ある程度迄事業に参加す。
- 三 其他の活動 (一)週末學校及夏期學校。(二)幻燈部。(三)公開幻燈應用講演(四)擴張通信講義部。(五)出版。
- 四 備考 縫工及衣服工合同組合及合同機關工組合は、從來労働者教育協會に入して居つたが、一九二四年以降本評議會を援助する事になつた。

六 プレーブス・リーグ(平民聯盟)

- 一 創立 一九〇八年。
- 二 加入團體 本リーグは、労働大學運動を支持する人々から組織されてゐる。出版委員會があつて、全國労働大學評議會の出版事業をも兼ね營むが爲め、該評議會の代表者も加はつてゐる。

- 三 財源 収入は、雜誌「プレーブス」及其他の出版物の賣上高、寄附及贈與より得てゐる。

- 四 事業 本リーグの發行する月刊雜誌「プレーブス」は、全國労働大學評議會の機關紙であつて、六千五百部發行してゐる。又該評議會の學級で使用する特殊の教科書を出版し、其他夏期學校を開く。一九一七年以來總計七萬部の書籍及二萬部のパンフレットを出版した。

七 労働大學(ロンドン)

- 一 創立 一九〇九年牛津に創立、一九一一年倫敦に移す。
- 二 加入團體 本大學は目下、全國鐵道従業員組合、南ウエールス坑夫聯盟によつて管理されてゐる。此の二團體は、其の代表者として各三名の管理者を大學の事務局に派遣する。

其他ノーザムバーランド坑夫協會、ダーラム坑夫協會、合同家具工組合等の労働組合よりも、本大學に給費生を送つてゐる。

三 財源 労働組合基金。

四 寄宿制労働大學 本大學は寄宿制で、現在收容學生十四名である。

五 課程 本大學の課程は、講演、學級、團體教育、論文作成、個人教授等より成り三ヶ年制である。

六 海外留學 目下本大學は、伯林獨乙社會黨教育部に、南ウエールス坑夫聯盟の一學生を派遣してゐる。

七 校外生 校外生は一學期(自九月至翌年七月)四十磅の授業料を納め、校内生と同一の教授を受け得る。然し大學内にて食事住居をなすことは許されてゐない。

八 講師招聘 労働運動奉仕者、大部分は本大學の卒業生と、全國労働大學評議會に加入せる大學又は本部の設くる地方學級の講師より招聘す。

九 備考 本大學は「獨立労働階級教育」の主義に基づいてゐる。

八 スコットランド労働大學

一 創立 一九一六年。

二 加入團體 スコットランド労働組合會議(七つのスコットランド組合及三つのイギリス組合スコットランド支部)、數百の労働組合支部、労働評議會、協同組合、労働黨、社會主義團體支部。

本大學は、全國労働大學評議會に加入してゐる。

三 財源 主として、經費は團體加入金より得てゐる。其他、労働階級機關の寄附、教育事業のために労働組合よりの支出金。

四 寄宿生大學 寄宿制の大學は設けられてゐない。然し、學校はエデンバラ及グラスゴーに永久的な施設を有してゐる。

五 學級講演會研究會 一九二三年——二四年度には百五十二の學級が施設され、

其の學生數は三千九百八十二名に達した。

研究會も組織されてゐるが計數明かならず。公開講演會は多くの場合に於て幻燈を應用してゐる。

六 圖書館 小數の小圖書館が學生及輔導講師の爲めに設けられてゐる。

七 地方支部 八つの地方委員會が、スコットランドの全工業地及大部分の農業地に設けられてゐる。

八 講師招聘 勞働運動奉仕者より。

九 協同組合 協同組合も亦事業に参加してゐるが、別に組合自體の教育委員會を設けてゐる。

一〇 其他の活動 週末學校の組織經營、通信講座の施設。

一一 備考 本大學(本部)は、勞働階級管理の下に獨立勞働階級教育を行ふものであ

る。

九 大ブリテン及愛蘭協同組合聯盟

一 創立 一八六九年。

二 加入團體 協同組合聯盟は、約一千四百の協同組合より組織されてゐる。

之等の協同組合は主として地方消費(小賣)配達組合であるが、全國的の卸賣組合及生産組合も加はつてゐる。其の教育事業は中央教育委員會の役目である。

三 財源 組合聯盟の収入は、加入組合の拂込金(一九二二年には會員一人に付二片。一九一三年度には、一千四百の組合中八百二十五組合より醸出した金額十一萬磅以上に達す)から得てゐる。中央教育委員會は、聯盟基金から經費を支辨し、其の額は總収入の二割を超過せざる定めである。一九二〇年度に於ては約六千磅消費された。

四 寄宿制労働大學 寄宿舎の設備を有する協同組合大學(ホリーオーク・ハウス)

がある。目下寄宿制大學建設のため基金募集中である。

五 研究会 年少の協同組合員のため研究会が組織されてゐる。一九二三年には約

一百の研究會とカムラード・ギルト(僚友組合)があつた。

六 學級 一九二三年—二四年に施設された學級次の如し。

學級の種類	學級數	學生數
普通會員	二二〇	三、六八八人
婦人	二一	一、〇三五
雇傭者	二〇一	三、四一二
教育主事	一	一
合計	四四三	八、一三六人

雇傭者の學級中には、徒弟、記帖係、販賣人、管理人(高級下級共)、會計検査員及

主事のための學級を含むてゐる。

尙ほ、十二歳から十七歳までの年少學生のために四百九の學級がある。之等の學級に出席せるものは、一萬五千三百二十人以上である。

七 講演會 數多の講演會も亦開催さる。

八 講師招聘 協同組合員から招聘す。

- 九 其他の活動 (一)通信學級。(二)協同組合に関する事項につき試験を行ひ、受験者の成績優良なるものには證明書を授與す。(三)年額四十磅宛の二種の研究奨勵金贈與。(四)教育主事、管理委員會員及普通會員の爲に週間學校及週末學校を開催。(五)成人及青年の爲に夏期學校開催。(六)中央教育委員會は講義要目を編纂す。(七)協同組合に関する文献の出版及配布。(八)成人及少年の爲め各一種宛の月刊雜誌發行。(九)各種教育團體の事業を援助。

本聯盟はかく組合員自らの爲の事業の外に、労働者教育協會、大學輔導學級等に委

員を出し、ラスキン大學、勞働大學(ロンドン)、スコットランド勞働大學等にも代表者を派遣し、絶えず寄附をなし、之等諸團體學校等の財政を補助してゐる。

一〇 勞働者俱樂部及インスティテュート同盟

一 創立 一八六二年。

二 加入團體 ラスキン大學及勞働者教育協會と連絡を取つてゐる本同盟は、約二千四百の俱樂部と約十萬の個人會員とを有してゐる。

三 講演會其他 一九二三年に於ては、一千十四の俱樂部が講演會を開催、其内の若干は勞働者教育協會と協力して開いた。

本同盟の二十九の支部中半以上は、何等かの形式に於て教育事業を營むてゐる。之等の教育事業が執行部の承認するところとなれば、其の事業成績及經費支出額に應じて財政上の補助を受ける。

四 圖書館 一千三百五十六の俱樂部は夫々圖書館を有し、藏書數總計四十六萬五千五百二十三冊に達す。

之等の圖書館は特に勞働に關する性質のものばかりではない。

五 其他の活動 本同盟は自ら經營に係る夏期學校を有し、主として俱樂部組織の専門的研究をなす。又ラスキン大學に對する奨學制度も設けてゐる。

六 備考 本同盟は勞働者教育協會に與ふる財政上及其他の援助を通じて、大ブリテンの勞働者教育に貴重なる貢獻をなしてゐる。

一一 全國成人學校聯盟

一 創立 一八九九年。

二 加入團體 三十の獨立した地方成人學校組合が聯合して、全國成人學校聯盟を組織し、常設委員會を設けて管理してゐる。

- 三 財源 會費、個人の寄附、各成人學校及地方成人學校組合よりの醸金。
- 四 成人學校 全國に亘つて成人學校の數約一千五百（中には五百人以上の生徒を有するものあり）、之等の學校に出席する生徒は、一ヶ年約五萬人に達す。
- 五 其他の活動 (一)討論會、研究會開催。(二)週間學校、夏期學校の組織。(三)機關雜誌、教科書、パンフレット、學習書の編輯刊行。

一一一 其他の勞働大學

- 一 倫敦勞働者大學 (一)創立 一八五四年。(二)加入團體 基督教社會主義奉仕者の一團、(三)財源 文部省及ロンドンの補助、維持者の醸出。休業中教室家屋賃貸等で、一九一三年度に於ては二千五百八十磅の收入があつた。又同年度に於ける支出は經營費、教授費等で合計二千五百七十磅であつた。(四)學級 諸種の學科に關する學級八十以上もあり、講師は七十人以上に達し、約一千三百人の學生を收

容してゐる。

- 二 ヴオガン記念大學 (一)創立 一八六二年。(二)財源 個人の寄附、文部省の補助等。(三)學生、一九一三年——一四年度の學期に出席した學生數は一千八百八十名で、内男學生七百八十七名、女學生一千九十三名であつた。

- 三 女子勞働者大學 (一)創立、一九二〇年。(二)財源、一九二三年度の經費は、邦貨約二萬五千圓。此額より生徒の學費(一人八十磅)を除き約一萬一千圓は個人の寄附。(三)寄宿制大學、學生は全部寄宿舎に收容す、目下の設備では十八名の定員である。

- 四 モーレー大學 (一)創立、一八八五年。(二)財源、一九一三年度の經費は一千七百三十八磅であつた。其の收入の主なるものは次の通りである。

倫敦郡會の補助

五〇〇磅

文部省の補助

三五七

授業料

二八九

合計

一、一四六磅

(三)學生、一九一三年度に於て各學級に出席せる學生數一千百二十五名に及び、内七百八名に對し獎學金が支給された。

五 チヨルレー労働者教育協會大學 (一)創立、一九一一年。(二)財源、經費は個人の寄附金及教室貸賃料より得てゐる。一九一八年度に於ける總支出は約七十磅であつた。(三)事業、補導學級、短期講習會、研究會開催。

六 ファークロフト大學 (一)創立、一九〇九年。(二)管理、本大學、成人學校聯盟。労働者教育協會の各代表者八名を以て本大學管理委員會を組織す。(三)財源、個人の寄附、成人學校組合及他の團體の補助。(四)學期、一年を三期に分ち、一期十二週間開講、講義は一學期毎に完了す。(五)寄宿制、寄宿舎の設備を有し、食費室代授業料を合せて一學期十磅の學費とす。(六)通信講座、成人學校の要求により通信講座も設けてゐる。

一三三 大學擴張講演

一 創立 此の事業は一八七三年ケムブリッジ大學に依つて開始され、其後一八七六年にロンドン大學大學擴張協會の創立を見、次で一八七八年にオックスフォード大學大學擴張委員會が設けられた。

二 講演 講演は一科目に付き、少なく共十回乃至十二回連続し、普通四ヶ年八學期を以て完成す。

三 講演中心地 ケムブリッジ、オックスフォード、ロンドン三大學の講演中心地は、一九一三年に於て全国各地に亘り約二百六十ヶ所であつた。

四 特別學級 大學擴張講演に伴ひ、聽講者の知識の徹底を期する爲め、各學科に對し特別學級を設け、討論、研究、論文提出、試験等を行ふ。

五 講師招聘 講師は主催大學の指名せる大學關係者及大學出身者の中より、開催

地の地方委員が撰定する事になつてゐる。

- 六 財源 主催大學及開催地地方委員の醸出、文部省及特志家の寄附等。
- 七 夏季大學 一八八八年以來毎年開設され、オックスフォード及ケムブリッジ兩大學が交互に其の主催者となる。

一四 世界成人教育協會

- 一 創立 一九一九年。
- 二 目的 (一)世界に成人教育機關の普及を促す。(二)成人教育機關の相互協力を圖る。(三)國際主義の諸運動と協力して成人教育の發達を圖る。
- 三 事業 (一)中央事務局をロンドンに設け、世界の成人教育に関する調査報告を編纂發行す。(二)世界各國に支部及調査委員を置く。
- 四 財源 經費はアーネストカッセル教育財團及ローズ財團の補助、個人の寄附、

會員の會費(一ヶ年六志)、加入團體の會費(一ヶ年二磅二志)によつて支辨す。

一九二〇——二二年度に於ける一ヶ年の總收入は二千六百磅餘であつた。

- 五 小冊子配布 加入團體及會員には毎年四回定期刊行の小冊子 *The Bulletin of the World Association for Adult Education (Price One shilling)* を無料にて配布す。

佛 蘭 西

フランスの労働者教育は全國五百有餘の任意的及個人的に經營さるる各種の地方的團體的の機關を以て施設されて居るが、全國的の統一機關はない。其の代表的なものを左に掲げる。

一 労働組合の施設

- 一 リオン 一九二〇年、リオンの労働組合員は、ローヌの組合同盟會館内に労働

組合大學を設けた。冬期間毎夕労働者の爲に自由學級(講座)が開かれ、土曜日の夜は講演會が催ふされる。

夏季にはスポーツに關する學級が開かれ、之れが爲に労働組合は郊外に大きな運動場を持つて居る。

二 リール 労働總同盟(C、G、T)の實行綱領を組織的に研究する爲に、リールに労働組合研究會が組織されて居る。

三 ボルドー ボルドー俸給生活者組合は連續講演會を催し、パンフットにして之を出版した。

四 講演會 (一)労働總同盟(C、G、T)は一九二二年の六月から一九二四年の六月まで二ヶ年間に、その代表者によつてなされたる講演會、九百四十回に達した。(二)一九二二年八月ブラツセルに開催せられた國際労働者教育會議の結果、リーダー學校として知られて居る連續講演會がパリに開かれ、其の中の若干の講演はパ

ンフレットにもものして出版された。(三)多くの講演會が地方的企劃の下に行はれて居るが、明確なる統計がない。然し大抵多數の出席者を得て居る。

五 圖書館 若干數の労働組合圖書館がある。其の中のいくつかは、著しき數に達する圖書を有して居る。然し之も亦統計は明かでない。

六 其他の活動 (一)大抵の労働組合は自らの職業學校を有して居る。(二)全國労働者工藝展覽會が開かれ、八十七の實用品裝飾品が展覽に供せられた。

二 労働組合以外の機關による施設

一 公民大學 一九〇〇年頃より、大學の教授、有志の學生及労働組合等によつて公民大學が各地に設けられ、一九〇三年には百三十八、一九〇五年には百六十四、一九〇六年には百六十九の多きに達したが、世界大戰の結果甚大なる打撃を受け、一九一九年には僅に三十六に減少し、目下は幾んど昏睡状態に在る様である。然し

八時間労働の原則が一般的に承認せらるると共に、公民大學の利用は益々多大にならうと期待されてゐる。

二 工藝協會 工藝協會は現在二百五十二學級を有し、之に在籍する學生の數は三千七百九十五人である。英語を學ぶ者尤も多く、従つて其の學級も三十三の多きを數へ、在籍學生數も千二百人に達す。サンデニ、コーピロン及巴里リセコンドセの三ヶ所にも支部を設けてゐる。又歴史や市民問題に就ても非公式の講演が開かれる。

三 學藝協會 一九一八年に百三十四學級を設け、同二十年には百三十八學級を開いた。尙病氣平癒に近き兵士の宿舍にて諸種の講演會をも催ふしてゐる。

四 好學協會 ボルドーに於て最も活動的な機關で、其の本部及市外の支部には九十五學級あつて、之に出席する學生數は二千九百十九人である。

此の外に教友會は夜學校を開き、出席生徒數四百四十一人である。
ジロンド講習聯合會は、公民圖書館維持に、其の活動を集中し、且つ婦人の學級を

も開設した。

五 公民圖書館 一八三四年に工藝協會によつて設けられたものが最初である。爾來政府の獎勵と共に、フランクリン會、労働者の協會及協同組合等の諸團體の活動を待つて、一八七六年には其の數七百七十三に達し、藏書數八十三萬八千三十二卷に及んだ。一九〇六年頃には、更に其の數を増し、約二千九百十一の圖書館、其の藏書數四百十六萬六千四百十七冊の多きに達した。然も此の合計の中には巴里七八の大圖書館の分は全然含まれてゐない。

六 政府其他の補助金 一九一八年より同一九年までの政府、市役所其他の成人教育費の補助金は合計百八十一萬フランであつた。

獨 逸

一 全國勞働者教育本部

- 一 創立 一九〇六年。
- 二 加入團體 獨逸勞働者教育委員會。
- 三 財源 事業より生ずる收入、特に出版物販賣の利益。
- 四 寄宿制勞働大學 チュウリンゲン聯邦によつて管理されるシユロス・チンツの社會主義大學がある。
- 五 非寄宿制大學 フランクフルト・アム・マインの勞働學會、ベルリン及びデュッセルドルフの經濟學校及都市民衆大學がある。
- 六 學級、講演會、研究會 學級、講演會、研究會等は諸地方に施設されてゐる。然し財政上の關係等にて全國本部に其の報告が集つてゐないので、出席者の數等について何等據るべき統計がない。

- 七 圖書館 約一千を數ふ、
- 八 地方支部 六百に達す。
- 九 講師招聘 戦争以來、教校の大學當事者を依頼してゐる。

二 大ベルリンの勞働者教育

- 一 加入團體 勞働組合總聯盟及俸給生活者總聯盟ベルリン支部。
- 二 財源 前記二聯盟の地方組合を代表する各勞働評議會によつて積立てられた基金による。
- 三 寄宿制大學 施設なし。
- 四 勞働學校 大ベルリンの勞働者教育は、二つの學校に集中されてゐる。(一)勞働評議會學校。(二)勞働組合學校。勞働評議會の學校は、勞働評議會員と共に、普通の勞働組合員を入學せしめる。其の比率は勞働評議會員六十%、普通の勞働組合

員四十%である。労働組合の學校は、リーダーのための學級と青年のための學級とを設けてゐる。

五 學級 兩者の學校によつて組織されてゐる學級の總數は次の如くである。

(一)労働評議會學級數。

一九二三年總計百二十四

一月—三月 四月—六月 十月—十二月

五二 三二 四〇

一九二四年總計三十四

二月—四月 五月—六月

三〇 四

(二)労働組合學校學級數 (A)リーダーのための學級

一九二二年十月から一九二三年四月迄、五十一時間。

一九二三年十月から一九二四年四月迄、五十一時間。

(B)青年のための學級

一九二二年十月から一九二三年四月迄、八十八時間。

一九二三年十月から一九二四年四月迄、七十二時間。

六 在籍學生 労働評議會學校 労働組合學校

一九二三年 一九二二年—二三年

第一學期 千八百人 第一學期 百人

第二學期 九百人

第三學期 千七百人

一九二四年 一九二三—二四年

第一學期 六百五十人 第一學期 八十五人

第二學期 約七百人

七 婦人學級 一九二三年一月—四月 一。四月—六月 一。十月—十二月

二。一九二四年四月—六月 八一。

八 講演會 兩校の學生のために九回の講演會開催、他からの聴講をも許可した。

九 研究會 (一)經濟學に關するもの 一、(二)勞働立法に關するもの 一。

一〇 講師招聘 講師の大部分は勞働運動奉仕者で、其他實際技術家、商業實務家である。但し大學教授は一人もなし。

一一 備考 全校の學課及個々の學級の學課は、各種の學生の事情を參酌して編成される。(勞働評議員會員のための特別訓練の場合を除いて)之は勞働評議員會員、勞働組合役員、一般組合員を同一の學級で一所に授業するのは頗る好結果だといふ事を見出されたからである。リーダーのための學級は勞働組合の役員及使用人のための特別なものである。青年のための學級は將來リーダーとなる望みの多い青年組合員のために施設されたもので、青年組合員の一般教育は勞働組合青年運動の事業に任

てある。

三 獨逸金屬工組合の教育事業

一九二〇年から一九二三年迄、獨逸金屬工組合執行部の教育部は組合の教育活動に任じ、その費用は組合基金から支出される。

一 寄宿制大學 組合は經濟學に關する寄宿制勞働大學を設立する事を決議した。

二 學級其他 一九二一年から一九二三年迄の間、三週間繼續の強制的の寄宿制講習會が開かれ、學生は之に出席するため彼等の業務を免除された。一九二三年以來之等の講義は財政上の困難のため一時中止され、ルール地方、ザール地方及ダンテツヒに於ける夜間學級又は講演會を以て之に代へられた。此の三週間繼續の講習會は、次の十七の産業中心地で開かれた。

地方

學生數

エルフルト	六三人
ハーゲン	七五
コロニーユ	五八
プレスラウ	七三
ビーレフェルト	七三
エスセン	六五
ハルレー	七三
ハンノーヴェル	五九
シユテツチン	五五
フランクフルト	七九
ニユーレムベルヒ	六五
ハムブルグ	六二

シユツツトガルト	七四
プランデンブルヒ	五六
ベルリオン	五二
ドレスデン	六五
ケエニツヒスベルヒ	二九

三 特殊學級

講習會の外、執行部は多くの特殊學級を組織してゐる。

(一)青年労働者のための學級、學生約六十名。(二)カスセル近在、クーデンベルヒ婦人労働組合員のための學級、學生的四十七名。(三)クーデンベルヒ管理局員のための講習會、學生六十二名。(四)俸給生活者のための學級、但し出席率は不良。

四 講師招聘

講師は主として大學當事者、技術家、労働組合役員とし、極めて特殊な場合に於てのみ、労働運動關係者以外から招く。

四 伯林民衆大學

獨逸民衆大學は、世界大戰後各聯邦に亘つて、都市と云はず農村と云はず到る處に施設せられ、殊に伯林、ハムブルヒ、ライプチヒ、ドレスデン、ミュンヘン、ニュールンベルヒ、クレフエルト、ケルン、フランクフルト・アム・マイン、スツットガルト、ダルムスタット、ケーニヒスベルヒ等の大都市及サクソニアの農村地方は之が發達特に著しきを見る。然し全國的の聯盟機關は設けられてゐない。従つて全國的に民衆大學の概況を知るに由なし。仍つて之が代表機關として伯林民衆大學を紹介する。

- 一 開始 一九二〇年。
- 二 財源 最初伯林市役所の補助によつて維持されたが、一九二三年の始め、獨立維持をなすため「伯林民衆大學會」を組織して、寄附者を會員となし、其の寄附金と學生の授業料とを以て經營することゝなつた。
- 三 學校及學級 學校は伯林市内約二十ヶ所に設けられ、一九二二年一月—三月の學期には、各學科の學級が百九十一組織された。

四 學期 一年を三學期に分ち、講義は一學期毎に完結する。授業は一學科一週一回一時間半乃至二時間とす。

五 學生數 一九二二年一月—三月の學期に、各學科の學級に出席せる學生數は四千三百二十四人であつた。學生の年齢別は次の通りである。

二十歳以下一〇% 二十歳—二十五歳一九% 二十五歳—三十歳二〇% 三〇—四〇歳三二% 四十歳以上一九%。

六 講師招聘 綜合大學、單科大學關係者、中等學校教師、大學の學生及其他専門家より適任者を招聘す。

五 フンボルト民衆大學

- 一 創立 一八七八年。フンボルト民衆大學創立、一九〇二年自由民衆大學創立、一九一九年勞働者民衆大學創立。

- 二 加入團體 ヒルツシユ、デユンケル労働組合、會員約十萬人を有してゐる。
- 三 學級及學生 之等の大學は目下一ヶ年約二百五十餘の學級を設け、出席者約五萬人に達してゐる。

露 西 亞

露西亞労働組合教育事業

事業の詳細に亘る事を避け、全露労働組合中央評議會教育部の報告に基き、大體他の諸國の例に倣つて記述す。

- 一 財源 露西亞労働組合教育的事業の財源は次の如くである。
 - (一)労働組合員の寄附一〇% (二)經濟團體の寄附、支給を受けたる賃銀總額の一%
 - (三)俱樂部會員の寄附、入會金及毎月の醜金 (四)其他協同收入全部の四分の

三% (此の四分の三%の寄附は、労働組合と政治教育部にて等分して負擔す)。

- 二 該事業の中心機關——労働者俱樂部 豫備調査によると全國俱樂部の總數は二千五百に達す。其の中千五百七十二はソヴィエツト共和國總面積の六十%を占むる六十二地方に亘つて分在し、其の内譯は千四十九が工場俱樂部、他の五百二十三は本部及市町村俱樂部である。

會員は有志の人々より成り總數八十萬人に達す、十乃至五十コベツクの會費を徴す、俱樂部を後援せんがため、勢働組合は共同食堂又は労働者共同住宅の中に、一二室を求めてレッド・コーナーを經營し、其所で主として政事問題に關する初等教育事業を營むである。現在二千のレッド・コーナーがあり、小工場では俱樂部に代用して居るものもある。

- 三 講演 僅か一ヶ月間(一九三三年三月)に四千六百二十四回の講演會が労働者俱樂部に開催され、其の出席者八十六萬一千二百二十人に上つた。

四 研究會 各俱樂部は經濟學、勞働組合主義、科學的勞働統制 (Scientific Organization of Labour) 等の題目に就て種々な研究會を組織して居る。然し之に關しては未だ充分な統計が得られない。

五 學級 勞働組合役員訓練のため、三四ヶ月の短期講座が、勞働組合の地方支部及地方勞働組合評議會に依つて日曜日及は夜間の何れかに開かれる。又同じく勞働組合役員訓練のため、若干の地方勞働組合評議會(モスコ)は一年制二講座を設け、又スヴァアードロー國立大學は三年制一講座を聞いてゐる。其他全露勞働組合評議會も亦、勞働組合運動に關する講座を設けてゐる。

六 圖書館 勞働組合は工場、地方及都市勞働評議會、就中勞働者俱樂部内に其の所屬の圖書館を有して居る。一九二三年に於ては勞働組合圖書館千六百八あり、繼續閱覽者三十三萬二千人に及び、藏書數三百萬卷に達す。

其の所屬内譯は、五十一%勞働者俱樂部、三十七%俱樂部を有せざる工場委員會、

十一%二分一、地方勞働組合支部、二分一%地方勞働評議會。

七 讀書室 農村の教育的文化的事業は國家の維持に係る農村讀書室に統一されてゐる。勞働組合は之に文献を寄贈し、地方勞働組合支部は該讀書室を其の活動本部としてゐる。

八 一般文化事業 勞働者俱樂部は演劇、音樂、唱歌、美術、文學、體育等の研究會を組織す。特に體育に關する研究會に力を注ぎ、其の會員も約十萬人に及ぶ。又展覽會を開催し、時には勞働組合がある種の作業に従事する勞働者の罹り易い特種職業病豫防のため特別衛生訓練を施す事がある。

又演劇、音樂、映畫等の鑑賞會も、俱樂部によつて組織され、モスコ及レーニングラードに於ける會員の無料入場券の如きも二十萬乃至三十萬枚が俱樂部の手に依つて購入された。又素人演奏會及演劇會も俱樂部自ら催ふしてゐる。

九 出版 之は勞働組合教育事業としては頗る重要な部門である。

(イ)工場界新聞 工場生活其他國外、國際的の事項を傳ふるために、労働者自身の手によつて執筆或は印刷されたもので、約四十種の工場界新聞が刊行され、約四萬人の労働者の記者が其の發行を助けてゐる。

(ロ)労働組合機關紙及出版物 日刊及週刊新聞が比較的大きな地方労働評議會、労働組合執行部、全露中央労働組合評議會より發行せられ、尙之と共に日刊三種、週刊又は隔週刊六種、月刊新聞六十七種も發行さる。各紙發行部數左の如し。

全國的新聞九種 五三二、〇〇〇

地方新聞一三種 二三七、〇〇〇

各労働組合執行部新聞(全露労働組合中央評議會新聞を含む)

三四種 三四三、八〇〇

同上地方新聞 (Journal)

二三種 一八四、九〇〇

中央評議會出版部は一九二三年度に労働組合問題に關する書籍七十三種を刊行し、一九二四年一月一日より同十月一日迄の間に労働組合問題、一般労働者及労働組合主義者の生活に關する藝術及文學に關する書籍八十九種を發行した。

又中央評議會教育部は現在教科書、裝飾用具、體育備品其他の供給をなすの外、十ヶ月間に幻燈板十萬枚以上(三千四百組其内七百組は労働組合動の歴史を説明するもの)。

一〇其他の活動 (一)労働組合は文部省職業部を援助した。(二)本組合は又無學者撲滅の大事業にも有力なる助力をなし、今や労働組合員にして無學なる者は組合員總數の十%を出でず。(三)労働組合は青年労働組合主義者教育のため青年部を設け十二歳以上の少年少女のため初等部を俱樂部に設けてゐる。初等部には専用の教室及專任の指導者があり。指導者給及生徒費は労働組合基金から支給されてゐる。初等部生徒數は目下二十萬人に及ぶ。(四)觀光會が組織され、モスコーのみで一年

間に二千五百七十五回開催、二十四萬三百七十五人が参加した。労働組合も亦博物館、前皇帝の宮殿其他大工場、名所等の遊覽會を企てた。更に遠隔地への旅行會を催し、地方労働者には大都市を、反對に都會労働者にはクリミヤ又はコーカサスを見物させた。

伊 太 利

伊太利では全國労働者教育本部は未だ組織されてゐない。ここにはミラノ無産者大學及びモンツア無産者大學の報告を掲げる。

一 ミラノ無産者大學

一 創立 一九二一年。

二 組織 規定に依れば、大學は十三名の委員から成る管理委員會によつて管理さ

れる。委員の中十一人は加盟團體員の選舉にかゝり、他の二名は労働聯合會議所によつて指名される。此の外協議機關があつて、ロムバード労働者團體聯盟、ミラン協同組合聯盟、無産者智育協會及大學幹部の代表者を以て組織されてゐる。

三 財源 經費は加盟團體員の醵金及労働者團體の寄附を以て之に充てゝゐる。一九二三年には三千五百名の會員を有し、中二千五百三人は労働者であつた。一九二四年初めの會員數は四千五十人である。醵金の割合は、労働總同盟加入労働者は、一ヶ年五リール、其の他の會員は年七リール、維持會員は十五リールである。

四 學級 一九二三年十一月より、二十四年六月迄の期間には次の如き學級が設けられた。

	學級數	科目數	平均出席數
大學構内	一二	七四	一二〇
地方支部	二七	一四八	四五

此の外講演は次の如く行はれた。

カステロ・スフォルツエスコ	講演數	一講演平均出席數
二五	一、〇〇〇人	
大學構内	一七	二〇〇

- 五 講師招聘 労働運動仕者より。
- 六 其他の活動 博物館、工場等の見學。
- 七 備考 次に示す統計を比較して見ると、國內の政治的紛争の爲めに、多くの労働者團體が壓迫せられ、従て本大學に及ぼした影響が如何に大であつたかを知る事が出来る。

年 度	地方支部	學級	科目	出席數
一九二二——二二	二七	九七	四九一	二〇、一一〇
一九二二——二三	七	三二	一四六	一〇、二〇〇

一九二三——二四 九 二七 一四八

二 モンツァ無産者大學

- 一 創立 一九二一年十月。
- 二 加入團體 イタリア俸給雇傭者全國同盟の俸給雇傭者及事務員組合、並に労働總同盟の發起に基く一地方團體の經營に係る。
- 三 財源 學生の授業料、労働團體、協同組合、俱樂部及個人の寄附による。
- 四 學級及講演會 一九二三年——二四年度(自十一月至五月)には、講演數四十回
在籍學生數は、男六百四十三人、女百二十五人、少年九十五人である。
- 五 圖書館 學生は藏書一萬冊を有するバオロ・マンテカツザの圖書館を利用する
- 六 講師招聘 社會科學の講師は労働運動奉仕者より、其他の科目に關してはそれ
々々専門の教師を招聘する。協同組合の諸機關は、財政的援助及建物の貸與等によ

つて本事業に協同し、又自らも教育事業を經營して居る。

七 其他の活動 共進會、博物館等の參觀、遠足、演奏會等。

八 備考 大學の諸事業は、労働運動の中心機關に對する官權の壓迫及之が爲めに労働者團體の受けたる損害の結果一頓挫を來したが、今は幸に復活の途上にある。

モンツアに於ける労働者教育事業に貢献しつゝある機關に Riceratonis Laico Giuce Pre Garibaldi と言ふのがある。之は一九〇七年に設立せられたもので、主として労働者團體及協同組合によつて維持されてゐる。體育、唱歌、音樂、朗吟等の教育に力を注いでゐる。

白 耳 義

一 全國労働者教育本部

一 創立 一九一一年。

二 加入團體 ベルギー労働黨、全國労働組合聯盟、協同組合本部、社會主義同胞聯盟全國組合。管理委員會は之等の團體の代表者に、地方教育委員會の二代表及青年運動の二代表を加へて組織されて居る。

三 財源 前記四團體の分擔金及故アーネスト・ソルウエー氏遺贈のソルウエー基金。

四 寄宿制労働大學 ブラッセル近くのウツクル (Uccle) に於て寄宿制労働大學が一九二一年に設けられた。普通フレミッシュ語とフランス語との學生のために交互に學期が開かれるが、一九二四年には兩語の學期が同時に開かれた。本大學の經費の大部分は「大學半ペニー」(College Halfpennies) と稱する全國労働者教育本部に加入せる全國的團體より、一人につき年額一〇センチムづゝ釀金されるものから支辨される。

五 學級及講習會

學級を設けて之を社會主義學校と呼ぶ。學級は全國を通じて主として十月から五月迄開講する。講習會は三、五、六、九又は十二の科目からなり一九二三年にはフランス語による講習會が三十四ヶ所で五十回、フレミツシユ語によるものが十六ヶ所で二十六回開催された。

加ふるに労働組合のリーダーの爲めにフランス語の講習會が二回、地方教育委員會主事のためのものが二回開かれた。婦人のための講習會にはアントワープでは三十五人、ブーンでは二十六人の學生があつた。

六 一九二三年に於ける講演會數

フランス語使用の地方教育委員會のある百九十二ヶ所に於て、フランス語を以てする講演會が五百四十回、フレミツシユ語使用の地方教育委員會のある三十ヶ所に於て、フレミツシユ語を以てする講演會が百六十七回開催された。聽講者數は毎回百名の平均である。

七 圖書館

フランス語を用ゆる地方には労働者圖書館の數百五十五、フレミツシ

ユ語を用ゆる地方には労働者圖書館數六十四に達す。

八 地方支部

フランス語使用の地方教育委員會百九十二、フレミツシユ語使用のもの三十一ヶ所。

九 講師招聘

大多數の講師は労働運動奉仕者であるが、大學よりも少數の講師を招く。此の外醫師、藝術家も招聘される。

一〇 其他の活動

(一)新聞、フランス語月刊 (Education-Recreation) 發行部數七千五百、フランス語月刊 (Outwikeling) 發行部數五千八百。(二)遠足、フランス語を使用する二十六の地方教育委員會は、基金を有する遠足クラブを設く、會報は全國本部より發行せられ、遠足見學の際には乗車賃割引の便宜を受ける。(三)夏季學校一九二三年には、労働大學によつて、二つの東部夏季學校が開かれた。一方には三十四名のフランス語學生、一方には二十一名のフレミツシユ語使用の學生が出席した。(四)婦人週間 一九二三年八月にはウツクルの労働大學によつて婦人週間が營

まれ、五十五名の婦人學生が出席した。(五)夏期學校、一九二三年九月には社會主義同胞組合の管理者のために、夏季學校が労働大學主催によつて開かれ、三十二名の學生が出席した。

西班牙

スペインの労働者教育は、他の歐洲諸國の如く發達してゐない。又全國労働者教育本部と言ふ様な組織もない。

一 大學擴張講演

- 一 **サラゴツサ大學** 一八九三年に大學總長が創立者となり、諸種の科目について一般民衆のために講演を開始した。
- 二 **バーセロナ大學** 一八九七年にサラゴツサ大學の例に倣ひ、日曜講演會を組織す。

す。

- 三 **オビエート大學** 一八九三年に開始講演の外にも學級を設け、或は考古學や美術研究の目的で旅行を企てゐる。

二 平民大學

- 一 **アテネオ・デ・マドリツド** 之は一種の私立大學の如きものなれど、一般労働學生にも聴講を許してゐる。
- 二 **マドリツド平民大學** 一九〇四年にアテネオ・デ・マドリツドの刺激を受けて創立し、其の會合や學級は労働者の中心地に開き、其の他或は旅行を企て、或は初等教育の學級を設けてゐる。

- 三 **社會主義學生團** 一九一七年に創立次の如き活動をなしてゐる。

(一)労働團體の求めに應じ、毎週公開講演を開く。(二)社會主義俱樂部内に於て、

労働者に初等教育を授く。(三)社会主義の講演を諸種の労働團體のために開く。
(四)演劇會開催。(五)巡回圖書館、公衆圖書館經營。(六)美術講演及博物館參觀。

三 マドリッド新學校

- 一 創立 一九一〇年大學の諸教授、文學者の一團によつて設置せらる。
- 二 財源 會員の會費、個人の寄附、刊行物の販賣利益等。
- 三 會員 會員の實數百五十人、社会主義者大會に参加し、又ロンドンのフェビア
ン協會とも氣脈を通じてゐる。
- 四 學級 (一)管理者、銑職、指物師、電信技手等のための職業學級。(二)一般的
文化に關する學級。(三)都市問題、國際問題及社会主義等の學科に關する學級。
- 五 圖書發行 講義筆記を編纂して刊行す。

奥 太 利

一 全國労働者教育本部

- 一 創立 一九〇〇年。
- 二 加入團體 社会民主黨、全國労働組合聯盟。
- 三 財源 加入團體の規定による會費。
- 四 非寄宿制大學 **ウインナの社会主義大學** 一ケ年に五ヶ月間開校して、百二十
名の學生を收容す。三ケ年制度の課程で、二種の學級を有す。一九二三——二四年
度に於ては初等三學級、中等一學級を設けた。
- 五 講習會 一九二三——二四年には、學生の種類に應じ次の如く講習會が催され
た。

講習會數 夜間講習會數

勞働運動指導者	二四回	三一九回
勞働評議會員	一六	一一八
一般勞働者	五六	三七三
婦人勞働者	二二	二八五
青年勞働者	二	四七
都市評議會員	一	一二
高級講習會	二三	五〇八

但し此等の講習會に出席せる學生の數は明かでない。

六 講演會 一九二三——二四年に於ける講演會數約一千二百回に達す、内八百三十九回は幻燈を應用して講演さる。

七 圖書館 圖書館は地方教育委員會によつて管理されてゐるがその統計はない。

一九二三年にはウインナのみで十八の勞働圖書館が設けられてゐる。

八 講師招聘 勞働運動奉仕者のみ。

九 協同組合 協同組合も勞働者教育運動に参加し、且組合直接の教育事業をも經營してゐる。

一〇 其他の活動 (一)活動寫眞映寫五百六回。(二)演劇及演奏會一ヶ月平均九十回開催、入場者約四萬人。(三)博物館及美術館參觀約百五十回。(四)科學事業見學約二百二十回。(五)一九二四年伊太利へ休日利用修學旅行二回、參加者夫々三百九十名及四百八十名。

二 公民教育會館

一 創立 一九〇七年。

二 加入團體 公民教育會。

- 三 財源 個人の寄附 會員及學生の授業料。
- 四 講師招聘 大學教授、講演家、大學卒業生。
- 五 學級及講演會 一九一五年から其翌年までに公民教育會館に開かれた科目が四十五あり、出席者が千九百三十一人あつた。一九一九年から其翌年までに九十八科目開講になり、四千二十四人の出席者があつた。又同時期に於ける公民教育會館及維納市中の單獨講演數は百十五回から二百四十六回に達した。
- 六 會員 一九二〇年に於ける會員數は約六千人に達した。
- 七 設備 會館は劇を演ずる際六百の觀覽者を容れるに足る講堂及數多の小講堂、大小の教室、圖書館、閱覽室、衣裳室等の設備を有してゐる。
- 八 新聞發行 一九一九年十月以來埃太利共和國の諸州及び其の教育會議の諸事項を報導する月刊新聞發行。

三 中央圖書館

- 一 創立 一八九七年。
- 二 財源 會員の會費(一九二〇年には二百五十萬クロネ)、個人の寄附、政府及維納市役所の補助金(一九二〇年には政府三千クロネ市役所一千クロネ)、公民教育協會、公民讀書協會等諸團體の寄附。
- 三 支部 一九〇七年に市内に二十四個、市外に二個の圖書館が設けられた。
- 四 貸出圖書數 一九二〇年に於ける圖書の貸出數は約九百萬冊に達した。貸出圖書の區分は科學書數三百萬冊、文藝書數五百五十四萬九千二百冊、音樂書數三十九萬冊である。
- 五 維納商業會議所 維納商業會議所の圖書館及維納法政講話會は中央圖書館員に其の圖書館を提供して便宜を圖る故に、同會員は社會經濟學、商業學、商業地理等

の如く他所に於て容易に求め難き資料に就て特殊の研究をなす好地位にある。

六六

四 維納公民大學

- 一 創立 十九世紀末(年度不明)
- 二 財源 個人の寄附、學生の授業料。
- 三 講師招聘 公民大學講師の大部分は維納公立大學の教授であつて、維納大學總長は亦同時に公民大學の總長である。
- 四 學級及學生 一九一九——二〇年度の學期には二百七十二學級、一萬四百九十六人の學生を有した。ある科目に就て新にクラスを設けて貰い度いと乞ふ學生が多い場合には、直に其要求を容れて新學級を開設する方針である。
- 五 圖書館 特別圖書館、參考圖書館、閱覽室の外に六萬冊も書籍を有する大圖書館がある。

六 支部 市内の勞働者の密集せる二つの中心區に二個の公民大學支部が設けられてゐる。將來は維納の何れの區にも公民大學を建てる計畫である。

七 會館設備 公民大學會館内に物理實驗室、博物展覽室、美術教室、寫真技術室八百人程を收容し得る演劇場大小の講堂及集會室、運動場、無酒飲食店等の設けがある。

八 演劇及音樂會 土曜、日曜日には演劇及音樂會を開催し、維納の名優、名女優又は演奏會やオペラの名歌手で公民大學で演せないものはない。

五 其他の教育機關

- 一 大學巡回講演 維納を始め諸州の重なる都市に於て各公立大學によつて開催され、一年に四回連續講演があつて毎回六週間を要す。
- 二 軍隊教育 兵士及其家族のため諸種の學級及單獨講演會開催、一九二〇年に於

六七

ける學級數百十一、之に對して二萬二千人の兵士の出席者があつた。又單獨講演會數七百八回あり其中百五十四回は幻燈を用ひ三萬九千九百三人の兵士と其家族一萬九千六百九十六人の出席者があつた。

別に各兵舎には圖書館を設け、百十の日刊新聞及百四十八の定期刊行雜誌の備へてある閱覽室が設けてある。

三 ウレニア會 一八九七年に創立され、講義は莫大の入費を要し他の機關で容易に開講出來ないやうな諸問題に就て開催さる。

瑞 西

一 瑞西全國勞働者教育本部

一 創立 一九二〇年。

二 加入團體 瑞西全國勞働組合本部及社會民主黨、

三 財源 兩團體各會員年額十一サンチームの會費約(二萬フランの收入)、本部は會て聯邦議會に、一萬五千フランの補助を申請したが否決せられた。

四 學級及講演會 (一)學級の種類 學級數 出席者數

會員 六六 一、五四四人

リーダー 二 |

都市評議員 一 |

(二)講演會

回 數 出席者數

三〇七 二一、四八八人

今若し音樂會、映畫會等の出席者を合算したならば、全國本部によつて催された各種の學級、講演會、遠足會、演劇會其他の出席者數は總計凡そ九萬二千に上る。

五 地方支部 地方教育委員會數百一。

前記の統計中には、此の中八十四の分を含んで居るに過ぎない、然も極めて有力なる委員會の若干が除かれてあるから上記の數字は活動の全部を盡してゐるとはいわれない。

六 圖書館 約八十。

七 協同組合 協同組合は何等労働者教育運動について關與してゐない。

八 講師招聘 労働運動奉仕者より。

九 其他の活動 (一)一九二三年五月伯林觀光團の組織(參加者四十名) (二)活動寫真會二十三回開催、出席者六千九百名。(三)音樂會及演藝會八十回開催、出席者五萬八千人。(四)遠足會、四十一回開催、出席者二千五百五十五人。(五)出版事業、主として社會主義教育問題に關するもの、發賣部數千四百。(六)一九二三年に十一人の研究生をフランクフルト労働學會に派遣。

二 各労働組合の教育事業

瑞西労働組合中四組合は夫々各組合自體の教育事業を經營してゐる。

一 商業労働者、運輸労働者、飲食物業労働者組合 本聯盟の地方支部中若干のもの、自ら其の教育施設を實行してゐる。先きに教育専門の役員を設くる事に決定したが、經費の關係上未だ任命を見ない。

二 刺繡業労働者組合 セント・ガルレン組合支部の五小支部 (Sub Section) が特殊の教育施設をなし、幻灯應用講演、十六人の一般労働組合員のための學級及二十二人のリーダーのための學級を設けてゐる。

三 公共事業労働組合 セント・ガルレン、ベルネ、バーセル、ツイリツヒの四都市に於ては各市夫々教育委員會を置いてゐる。組合は、學級、夏期學校等に出席するため賃銀を得られぬ組合員に財政上の補償を與へてゐる。

四 織物業勞者組合 八十三の支部中四十迄講演又は學級を開いてゐる。出席者數六千一百人に達す。

和 蘭

一 全國勞働者教育會創立委員會

一 全國勞働者教育會創立委員會 オランダ社會民主勞働黨及ネーザerland勞働組合聯盟は、聯合委員會を設けて、オランダに於ける全國勞働者教育本部の組織に關する實行案の調査及立案をなさしめた。該委員會が一九二四年の春印刷したる報告書に依れば、アムステルダムに本部を置き、社會民主勞働黨及ネーザerland勞働組合聯盟から各二名、設置計畫中の地方政府委員會から二名、並に全國勞働者保險銀行局の指名せる一名の代表者からなる勞働者教育會の創立を勧め、更に教育會

は教育事業を振興し、勞働者圖書館を整備し、各種文献の出版をなす傍ら、勞働大學を開設すべきものとなしてゐる。

二 加入すべき團體 勞働者教育會に加入すべき團體は、(一)既設の地方教育會、(二)今後組織せらるべき地方教育委員會の二種とされる。

三 財源 教育會の經費は、全國勞働者保險銀行局よりの補助金、一名六十セントの會員加入金、社會民主勞働黨及ネーザerland勞働組合聯盟よりの補助金に依らんとする。

四 従來の教育事業 之迄も、教育事業は地方教育委員會の補助の有無に不拘、行はれて來たものである。一九二二年——二三年には、四十六の都市に地方教育委員會が組織され、之等の委員會に依つて約三十五の都市に學級が組織された。就中アムステルダム及レイデンに於ける事業は最も手廣く行はれて居るが、出席學生數に

關する統計材料がない。
他の三十八の地方に於ても、餘り組織的ではないが、夫々相當の事業が行はれてゐる。

瑞典

全國勞働者教育本部

- 一 創立 一九一〇年。
- 二 加入團體 十八の全國的團體を以て組織す、其の主なるもの次の如し。

團體	會員數
全國勞働組合本部	二九二、九一七人
協同組合	二五九、三八八人

社會民主黨

一三一、七六八人

瑞典勞働者中央團體
(産業革命主義者團體)

三〇、八三二

瑞典織物工組合

一五、七四五

青年共產主義聯盟

一三、二二七

共產黨

一二、一九七

瑞典青年社會民主聯盟

一一、四〇二

一九二三年に於ける加入

會員總計

七九八、三三三人

三 財源

全國本部は次の財源から經費を得て居る。

(一) 上記十八の全國的團體各會員の醸金(一ヶ年會費五クロネー宛の規定)

(二) 政府、州廳及郡からの補助。

一九二三年に於ては會員の醸金凡そ四萬クロネー、政府補助約七萬九千クロネー、

州廳補助二萬五千クロネー、郡補助五萬三千クロネー、合計十九萬七千クロネーの収入があつた。

四 非寄宿制労働大學

労働者教育本部のゴッテンブルグ支部は労働大學を設置した。これは組織的の夜學級の本部とも稱すべきものである。諸大學は六乃至七講座を設け、十週乃至十二週を一期とし、一週二學級を開講す。多くの労働組合は奨學制度を設け、派遣學生一名に付年五十クロネーを支給す。

一九二三年——二四年度には、秋期二百八十五、春期二百十八名の學生が出席した。本大學は諸團體、會員の年賦金、寄附金及學生の授業料等で支持せられる。

五 研究会

有力なリーダーの指導の下に、圖書館と連絡をとつて組織せられた研究会が瑞典労働者教育の主要事業となつて居る。一九二二年——二三年には千六百八十三の研究会があつたが、内三百七十八は殆んど其年に新設されたものである。同じく一九二二年——二三年度に於ける之等の研究会に出席せる學生數は二萬一千

六百八十五人であつた。一九二四年に至つて研究は約二千を數ふ。一九二二年——二三年度に於ける主要八團體に屬する研究会の内譯左の如し。

團體名	研究会數	學生數
全團労働組合本部	二七五	三、四一一人
協同組合	二九	四四二人
社會民主黨	二一三	三、〇二六人
瑞典労働者中央團體	四二	四五五人
瑞典織物工組合	一一	一四一人
青年共産主義聯盟	二八四	三、七一六人
共産黨	五四	六三六人
瑞典青年社會民主聯盟	一五二	一、八五八人

又労働組合の研究会數は

鐵道從業員	四二
金屬勞働者	四〇
公共事業勞働者	二二
製紙勞働者	一六
工場勞働者	一一

備考 或團體の會員にして他の團體の組織せる研究会、講演會に出席する場合多し。

全國勞働者教育本部に加入せる小團體（其の内の多くは全國勞働組合本部以外の勞働組合である）の中最も著名なるはバーデンヂー (Vadandi) の禁酒會で、一九二二—二三年度には百十四の研究会を有した。

六 講演會 一九二二—二三年度に於て千四百八十五回の講演より成立つ三百二十一講座が開かれた。出席者總數三萬五千七十二人。

七 圖書館 本部は一九二二年—二三年に所屬圖書館七百二に對し、圖書購入費

として十二萬三千クローネを費した。

八 地方支部 本部は二十九區、七百五十九地方に於て教育事業を營みつゝあり。

九 其他の活動 (一) スウェーデンに於ける勞働者教育の中心は圖書館であつて、之を回つて種々の施設が經營され、各地に行渡れる研究会の中核として役立つて居る。一九二二—二三年度に初めて講演會と研究会とを打つて一丸とする事が試みられた。此の改革はストックホルム、グエステラス、エスキルスツナ、マルモ、グ Rilpiの五市に於て行はれた。(二) 月刊新聞發行。(三) 巡回觀劇會の組織。(四) 本部は二割引にて買受けたる書籍を地方教育委員會に賣却し収益を地方教育委員會に交付す。(五) マルモ市教育委員會は、失業勞働者の爲に立派なる讀書室を設けた、毎日八百人の失業勞働者が閲覽してゐる。

諾 威

ノ威の勞働者教育機關には、丁抹の國民高等學校の精神を模倣して勃興した國民高等學校、及それよりもつと實際的で保守的な考から施設された地方學校があつて、政府及郡會の補助を受け、全國各地主として農村地方に於て發達してゐるが、之等の學校に關しては依るべき資料なし。

一 國民學院聯合組合

一 創立 一九〇五年。

從來は學院と他の學院との間に何等の連鎖がなかつたが、本聯合組合の設立によつて全國的聯盟機關が成立した。

二 管理 本聯合組合は政府、大學、學院及其他の代表者の總會に於て選舉された七人の委員によつて管理されてゐる。委員の任期は二ケ年である。

三 學院數 主として都市に於て發達し、一九二〇年には一百二十の學院があつた

四 學院の經費 各學院の經費は、政府及市、郡の補助、個人の寄附等の財源より得らる。講師は鐵道の無賃乗車券が得られ、講演及旅行等に要する費用の三分の二は國庫の補助を受ける。

五 講師及演題の選定 諸大學の教授が諾威教育局の委員となつて、學院と講師との中間に立つて斜旋の勞を執り、適當の講師を撰定し、且演題の表を作製す。

六 講演數 首府クリスチャニア國民學院では、一九一四年の統計によれば其の創立以來二十八ヶ年間に、學院の開いた講演會が六千四百五十九回、其の聽講者は約一百萬人である。其の他の學院に關しては依るべき統計なし。

七 月刊新聞 『成人及兒童の無料圖書館』(For Folke-og Barneboksamlinger)が諾威教育局から發行せられ、又學院の機關新聞ともなつてゐる。

丁 抹

一 全國勞働者教育本部

- 一 創立 一九二四年一月一日。
- 二 加入團體 全國勞働組合本部、社會民主黨、青年社會民主黨及全國協同組合。管理委員會は十八名より成立し、前記團體中の前二者より各六名宛、後二者より各三名宛を出す。此の四つの全國團體の總員は約三十六萬五千人である。
- 三 財源 本部の収入は前記四團體の割當釀金による、目下本部は總額三萬クロネの収入を得てゐる。
- 四 寄宿制勞働大學 エスブイエルグに於ける一つの寄宿制勞働大學は（一九一七年創立）社會民主同盟及エスブイエルグ勞働組合評議會によつて設立され、幹部の殆どすべてが社會民主黨員である。目下六拾名の學生を收容する設備を有してゐる。一ヶ年、男女學生共通に開放する五ヶ月間の冬學期と、女學生のみの三ヶ月間の夏

學期とがある。冬は全收容學生が寄宿するが、夏は通常これより少數である。政府は學校へ補助金を與へるが、學生へも財政的援助を與へてゐる。

- 五 非寄宿制勞働大學 コペンハーゲンの社會民主勞働大學は、十月から三月末まで夜間學級を開く、其の管理は全國勞働組合本部、社會民主黨其他各種の勞働團體の代表からなる聯合委員會によつて行はれる。學生は各團體から送られ、其等の團體は派遣學生に給費して居る。一九二三——二四年度には大學は四つの初歩學級と二つの高等學級とを設け、其の在籍學生總數百八十三名である。

- 六 コペンハーゲン勞働大學 此大學は社會民主同盟と同地の勞働組合を代表する聯合委員會の下に管理され、同市市會より補助を受けて居る。自然科学、歴史及文學に關する連續講演會を開き、一九二三——二四年には約四百名の出席者があつた
- 七 地方勞働學校 スラゲルゼ、スケルスコルン及マリボの三地方市にも勞働學校の設備があつて、主として社會的政治的問題に關する講演會を開く。一九二四年の冬

期には土地労働者のために三十の労働学校を開き、社會學に就て講義開催の豫定である。

講演は從來主として社會黨及青年社會黨によつて催ふされたが、然し全國本部は今後之を統一し、且つこれまで通俗講演會を開催して來た民衆大學同盟との協力を企て居る。入學生徒總數約六百人。

八 研究會 労働組合は一九二四年冬期に研究會開催の見込である青年社會民主黨は已に最近二三年間に多數の研究會を組織した。

九 圖書館 丁抹には公立圖書館が充分行き渡つてゐるので、全國本部としては特別に圖書館を設ける必要を見ない。

一〇 地方支部 労働組合又は社會主義團體の組織されてある總べての都市、大村落に地方教育委員會を設置せんとし目下計畫中である。

一一 講師招聘 講師は労働組合其他の労働運動奉仕者及専門家であるが、一度筋

肉労働の經驗を有する人々が多い。

一二 其他の活動 (一)青年社會民主黨は一九二三年の秋、労働運動指導者のために二日間夏季學校を開き出席者七十名を得た。(二)全國労働者教育本部は一九二四年八月三日より十日迄都市評議員のために一週間夏季學校を開き、毎日五十名乃至百名の出席者を得た。(三)本部はシェーンブルム及英國オックスフォードの國際夏季學校に六名の給費學生を派遣した。そしてチンツ社會主義大學へも一名の學生を留學せしめた。(四)本部は労働者教育の目的を以て、多くの小冊子を編纂する。然し自ら出版はやつてゐない。

一三 備考 一九二三年の冬二三の失業保險俱樂部は、失業給與金を以て失業中の青年を民衆大學に派遣し、在學中の舍費を賄はしめた。

一一 國際民衆大學 (丁抹エルシノーレ附近)

- 一 創立 一九二二年。
- 二 加入團體 獨乙、英吉利、北亞米利加の委員會及丁抹顧問委員會(協議委員會)。
- 三 財源 個人の寄附金及借入金、エルシノーレ及コベンハーゲン市會、丁抹協同組合、丁抹政府補助金。
- 四 學生數 一九二二年の第一學期三十二名、第二學期四十二名(内三十名筋肉労働者)。
- 五 其他の活動 (一)一九二四年四月十日より七月二十八日まで英語使用學生のめに特別授業開催。(二)英國労働者旅行協會と關係を有する二つの國際暑期學校開催。

三 民衆大學 (國民高等學校)

- 一 沿革 最初の民衆大學が開設されたのは一八四四年であつた。爾來一八六四年の獨丁戰爭までの二十年間に十一校、其後の十年間に五十四校、現在では八十校に及んでゐる。

二 財源 各民衆大學は大體私立の性質を帯び個人的經營に屬するが、近來政府より學校への補助生徒への給費の途が開かれ、一九二一年——二二年度に於ける一年間の政府の補助金は、學校の經費に對し三十四萬二千クロネー、學生への給費三十二萬二千クロネー合計六十六萬四千クロネーに達した。

三 學期 學期は農閑期を利用して男學生は十一月から三月に至る五ヶ月間、女學生は五月から七月に至る三ヶ月間を大體通則としてゐる。

四 學生 主として農村に於ける青年労働者を收容する寄宿制學校である。一九二一年に於ける學生數は男學生四千三百九十六人、女學生三千九百九十九人合計七千九百九十五人である。

五 科目及授業時間 科目と授業時間數の一例としてリスリグ民衆大學で、一九

二〇年の十一月から、一九二二年の三月までに教へられたものをあげて見ると次の如くである。

科目	時間数
歴史及地理	一週間十五時間
國語及文學	同 八
法律經濟會計	同 四
自然科學	同 四
圖書及測量	同 二
體操	同 六
習字	一學期二四時間
簿記	同 二四
講演及唱歌	毎夕

英語

特修

ツェッコスロヴァキア

一 プラード労働學會

(ツェッコスロヴァキア全國労働者教育本部)

一 創立 一八九七年。

本學會の活動は歐洲大戰のため一時中絶し、後一九一九年其の復活を見た。

二 加入團體 本學會は労働組合の創立に係る社會民主黨の援助を受けてゐる。現在では各種の教育事業に携る労働運動團體の各派を網羅してゐる。併したとへば労働階級シンガー組合聯盟の如き、種々の教化團體は、本學會に依つて其の端緒を開かれ、後に至つて獨立したものである。

現在三千八百十六人の直接會員と、勞働組合を通じての二十九萬人の間接會員とを有してゐる。六十八の地方團體はブラーグの本部より獨立して事業を經營してゐる之がため茲に示された統計は本學會活動の全部を網羅してゐない。

三 學校、學級、講演會

事業は普通初步の授業の行はれる學校と、比較的進んだ講義が與へられる學級と、そして講演會とに區別される。一九二三年に於ける統計は次の如くである。

ブラーグ本部

種類	在籍生徒數
初步學校數	四、一六〇人
上級學級數	二六、三八、七九四人
連續講演會數	五、聽講者數
(講演數)	三八、六、八四〇人

單獨講演會數 一七二 同二八、九二四人

地方團體

初步學校數	六	一四、七二六人
上級學級數	五二	三九、七五九人
婦人學級數	八	八、四〇〇人
連續講演會數	三六	聽講者數
(講演數)	一一五	一九、八四五人
單獨講演會數	四〇七	同三九、五四九人

本學會は目下ブラーグに於て勞働大學設立計劃中である。

四 圖書館

ブラーグ本部は約八千冊を備付くる圖書館を有し、社會主義圖書館の中核と認められてゐる。本部は又勞働組合のためにも圖書を購入してゐる。地方團體は十二の圖書館を有し之が藏書數五千卷に上つてゐる。

五 其他の活動 (一)本部は月刊雑誌「労働者教育」を發行する、發行部數五千、尙講演其他をパンフレットにもして出版する。(二)労働者に演藝、音楽及演劇の趣味を普及する。

種類	開催數	出席者數
演劇	一八回	一九、六四九人
演奏會	一〇	一一、六六五人
素人演藝夜會	一八	五、九四六人

其他聲樂、演藝、演劇の演習會及時には失業者のために特別演奏會が開催される。(三)修學旅行十一回、参加人員六百二十八名。(四)本學會は「自助」と稱する一團體を創設したが其後學界から獨立した。此の機關は一九二三年に於て五つの都市のために「休日殖民地」(Holiday colonies)を設けた。其の内の或ものは兒童のため、他ものは成人及青年のためである。種々の教育が之等の殖民地に於て行はれ、屢々

講演及討論の方法により休日ホームと夏季學校等が連合して催ふされる。此の殖民地は少なく共壹ヶ月以上時としては貳ヶ月間繼續する。一九二三年にはグラードのイタリー殖民地はイタリーに修學旅行を爲した。

一 ツエツコスロヴァキア獨乙社會民主黨全國労働者

教育本部

- 一 創立 一九一九年。
- 二 加入團體 全ツエツコスロヴァキア獨逸社會民主黨諸團體、地方支部一千以上會員七萬以上を數ふ。
- 三 財源 (一)社會民主黨より補助金。(二)講習會、學級の收入、幻燈の賃貸料及書籍の賣上高。
- 四 寄宿制労働大學 本部は必要に應じアウスシツヒ近在ラインドリツツの労働者

療養所を寄宿舎に提供する。

五 研究会 社会主義リーダーのための研究会が一九二四年の冬期に拾ヶ所に於て開催の豫定。

六 學級 學生 施設 數

リーダー 學校 一 (從來テブリッツ及カールスバードニ於テ隔年一校)

勞働評議員 學級 一〇〇以上

一般勞働者 日曜學校 四〇

婦人 學校 一四

都市評議員其他 寄宿大學 學級 六

七 講演會 一九二四年前半期中に二百回の講演會開催、出席者一萬二千名。

八 圖書館 一様の貸出制度及統計制度の勞働圖書館數約六十を算してゐる。

九 地方支部 百名の地方教育顧問、三十の地方區教育委員會、十の地方教育委員

會

一〇 講師招聘 講師は智識階級及勞働組合書記を招聘し勞働運動に關係なき講師は極めて稀である。

一一 協同組合 協同組合も亦此の教育運動に参加し又組合自身の教育事業をも經營してゐる。

一二 備考 右の外勞働組合、疾病保險クラブ、自由思想家、「自然の友」として知られてゐる協會、禁酒協會、社会主義講師協會、兒童の友會、社会民主婦人協會、社会主義青年聯盟も勞働者教育に貢献してゐる。
全國勞働者教育本部は總べての他の無產者團體と密接な關係を有し、共同事業としてアウスシツヒに「勞働者の家」と呼ばれる勞働博物館を建てゝゐる。

三 ソーコルー組合

- 一 創立 約五十年前。
- 二 組織 約二千のの地方ソール組合と三十萬人の會員よりなる一大團結である。最近拾五萬人の會員と約一千一百の支部を有する「社會主義勞働者組合」も一般教育事業に於てソール組合と合同した。
- 三 講演會其他 一九一九年には講演會及演說會が二萬回、素人劇が三千回、兒童劇が一千二百回開かれた。
- 四 圖書館 圖書館には數十萬冊の書籍を有してゐるが統計明かならず。

四 國民的諸協會

- 一 ツエツク同盟 北ボヘミヤのツエツク同盟は、七百の町村に其の支部を有し、五百の巡回圖書館を通じて、六萬冊の書籍を其の町村に配布した。一九一九年には其の支部に於て約五百回の講演會が開かれ其れと略同數の劇が演せられた。

- 二 國民同盟會 西南モラビアの國民同盟會は、五百八十二の町村に於て活動し、四百二十の圖書館と二十八の閱覽室を供給してゐる。一九一九年には講演會一百九十二回、劇二百十四回、其他一般民衆に娛樂を與へる催しが此の會の主催の下に開かれた。
- 三 獨逸人同盟會 モラビアのドイツ人同盟會は九萬五千冊を有する三百十八の圖書館を經營してゐる。

五 大學擴張講演

- 一 主催者 プラーグのツエツク大學に於ける大學擴張委員。
- 二 講演 過去三十年間に三千四百回の講演會を開き、其の聽講者約四十萬人に及ぶ又單一講演會の出席者は六十九人から四百七十人の間である。一九一九年より二十年にかけてはプラーグに於て各六回の連續講演會を十度開き、

其の聴講者一千六百三十二人あり。地方に於ては九十六回の講演會に對して二萬四千七百八十一人の聴講者があつた。

六 啓 發 聯 盟

- 一 創立 一九〇八年。
- 二 組織 百二十ヶ所の町に設けられたる文化事業局が集つて、中心機關啓發聯盟をブラードに組織す。
- 三 事業 文化事業局は諸町に於て特に重要な教育事業を經濟的に後援し、講演者を地方に派遣し、圖書館を監理し、且つ地方の美術展覽會を處理して行くのである。其の内最も重要な事業は成人學生に對する「民衆學校」の經營である。
- 四 民衆學校 民衆學校は約四十の町に於て開かれ、政府よりも經濟的援助を受けてゐる。民衆學校の學級は冬期三ヶ月或は五ヶ月間官立學校の教室に於て開かれ、

夜間に一週二回乃至三回である。學級は又公開講演により成立して來會者一般に開かるゝか、又は普通の學校の如く、在籍學生のみのために設けらるゝかの二種である。

波 蘭

勞働階級教育會

(勞働者教育に従事する諸團體の全國的聯盟)

- 一 創立 一九二〇年。
- 二 加入團體 ワルソト及諸所の十六の教育團體で、其の中には人民大學及ルウドウイ大學を含むでゐる。
- 三 備考 一九二〇年には、三十七より少なからざる諸團體を包含したが、時の政

府の壓迫の結果、其の多くは廢止せられた。即ち労働者劇場、各種の労働者クラブ八つの労働組合は官廳より閉鎖を命ぜられた。

「ロッツ」に於ては「労働階級教育會」の支部を設立せんと企つる毎に、發起人は逮捕せられ、教師及學生共其に屬する故を以て拘引された。目下労働者教育促進制度設立に關する諸請願は悉く拒絶せられ、既に設立せられたものも「労働者教育新聞」と同様に絶えず壓迫を蒙つてゐる。

週刊雜誌「労働者教育」及びレムベルグで初められたウクライナ月刊雜誌「新教育」等は共に發行を停止せられた。

ルクセムブルグ

全國労働者教育本部

- 一 創立 一九二一年。
- 二 加入團體 本部はクルセムブルグ労働組合聯盟によつて創始されたが、ルクセムブルグ労働黨も大に之に協力してゐる。
- 三 財源 労働黨は經費に資せんがために、毎年會員一人に付、二十五フランの割で當本部に醸出する。労働組合は、圖書館經營のため、労働祝祭日の純収入の三十パーセントを醸出する。
- 四 地方支部 三十五の地方教育委員會を設く。
- 五 研究會 一九二三年——二四年度には二十七の労働組合支部内に研究會が設けられた。
- 六 學級 學級は労働組合の役員のために(毎日曜日の朝、十五名の出席者を得て)及リーダー、市會議員、仲裁委員會の委員等のために、全國を四區に分つた教育區に於て設けられる。多くの労働組合は都市労働組合と共に、其役員を派遣して居る

ので、多くの學級は出席が多數である。

七 講演會 約四百回位の講演會が催され、内或るものは幻燈を應用す。現に二十の講演會に利用されてゐる。

八 圖書館 本部は講師のための一つの中央圖書館を有し、年々圖書を購求し、又巡回文庫を編制し、尙ほ二十五の圖書館支部を設けてゐる。

九 講師招聘 講師の大多數は、小中學の教師及辯護士を以て之に充つ。

協同組合は、自己の經營する教育機關はないが、労働者教育のために労働組合本部と協同して居る。

一〇 其他の活動 音樂及合唱團の組織及夜間通俗美術會の組織。

芬 蘭

全國労働者教育本部

一 創立 一九一九年。

二 加入團體 創立當初、本部に加入せしものは社會民主黨、青年社會民主聯盟、全國消費組合聯盟、禁酒會、フィンランド瑞典労働者組合の五團體に過ぎなかつたが、其の後全國芬蘭労働組合聯盟、婦人組合、運動組合、各禁酒會、其他労働組合も参加するに至り、斯くて一九二三年末に於ては該本部の包含する團體十五、加入會員三十三萬八百人に達した。

三 寄宿制大學 牛津のラスキン大學に其の範を取つた一労働大學(學會)が、グランクローラ(ヘルシングスフォルスより汽車にて約半時間)に一九二四年十一月より開校さる。

本大學は或る個人より多額の寄附(八萬馬克)を受け其の半額は先づ經常費に當つべく提供され、残半額(四萬馬克)は在籍學生三十人を得次第交付される様になつて居る。又労働團體及個々の労働者よりも、之が維持のために熱誠なる寄附を見るに至

り、尙國家よりも十五萬馬克の補助を支給される見込である。従つて本大學は數萬馬克の資金を以て其の事業に着手する事になつてゐる。

本大學は政治上の目的を有するものではないが、其の研究主題は多く政治問題に向けられる。講師の一部は働勞運動奉仕者より招聘し従て其の教授は他の大學に比し一層統一したものとなる。

四 研究會 全國勞働者教育本部の組織は、瑞典に於ける實例に倣つたもので其の中心事業も研究會と云つた形式を執つて居る。而して其の第一歩として研究會指導者の訓練に着手し、之がため現在三百八十九人の研究會指導者が特別な教育を施されてゐる。

五 學級 一九二三年に於て開設されたる學級百二十一。

六 講演 一九二三年に於ける講演會開催數、五百七十九回。

七 其他の活動 本部は一九二一年以來團體組織の問題、及各種の事項に關し通信

教授を開き又本部自身の圖書をも出版する。其他グラントラに勞働大學を創立せんとするに先立つて該計劃のため大に宣傳に努めて居る。

支 那

勞働組合乃至其他の勞働階級機關の、未だ發達せざる支那に於ける勞働者教育は、主として中央政府及地方官廳の一般成人教育施設に俟たざるを得ない。今中華民國教育部の報告に基いて、其の施設の主なるものを擧げる。

一 公開講演

一 講演會場 支那各地に於ける講演會場は、一九一五年には二千一百三十九に達し、通常一週一回乃至四回講演を催す。

二 巡回講演會 支那各地七百三十八ヶ所に於て開催された。(右の數字は一九一

五年の教育部の報告によるも、一ケ年間の統計なるや、又は施設以來の累計なるや明確でなからず。

尙一九一六年江蘇省に於て組織された巡回講演團は、二十二人の講師から成り、其の中の二人が本部に留り、他の二十人は二人を一箇小隊とする十箇小隊に分れ、殆ど全省を巡回し三百五十ヶ所に於て講演會を開き、聽講者十六萬六千三百十九人を得た。

三 講師の訓練 北京市、江蘇省を始め各地に講演者教習所が設けられてゐるが其統計は不明である。

一二 圖書館及博物館

一 圖書館 支那には二種の圖書館がある。一は公立圖書館で、他は巡回圖書館(貸出制度)である。

(一)公立圖書館數 二百六十八

(二)巡回圖書館數 奉天 十七

其他 十三

合計 三十

二 公立新聞縦覽所 一九一九年に於ける公立新聞縦覽所は、江蘇省の百八十七ヶ所、浙江省の百七十ヶ所を始め、各地に設置せられたるもの合計一千八百十七ヶ所に達する。

三 公立博物館 一九一五年に於ける支那の博物館は九ヶ所を數へ、其の内北京の博物館が最も完備してゐる。

三 成人學校

一 公立補習學校 十六歳以上の無學な成人を收容し、普通學、公民學、衛生等に

關する學科を授く。學生は一年間一週十八時間出席する。一九一五年に於ける學校數は廣西省の四十九を始め各省に於て七十九、學級數百三十一に達す。

二 國語學校 國語學校も亦何等教育を受けざる成人を教育する所で、其の主要な目的は平易の支部語を教授するに在る。一週十二時間宛の授業を以て、修業年限二ヶ年である。一九一五年に各省を通じて此の種の學校數は四千五百九十九、其の學級數九千一百二十五に上つてゐる。

三 露天學校 支那に於ては此の種の學校は新しい試みで、一週二回いづれも二時間宛教授する。學校數は一九一九年に北京に二十三、一九一八年に山西省に十九あつた。其の他の統計は確實でない。

四 冬期學校 農村に於て冬から春にかけての農閑期に開かれるもので、一九一八年に山西省に於て七十四の施設があつた。

四 其他の成人教育機關

一 通俗教育會 成人教育向上の機關として、一九一五年には通俗教育會が各省に亘つて二百ヶ所に設けられてあつて、(一)小説戯曲繪畫の作品審査及出版、(二)時事問題其他成人教育に關する資料及講演集の出版、(三)模範講演會の開催等の活動をなしてゐる。

二 農商務部の活動 農商務部も亦成人教育運動に關與し、(一)小冊子及報告書の配布、(二)講演會の開催、(三)農産物や農具の展覽會開催等の施設をなしてゐる。

三 出版物の配布 一九一八年から一九一九年までに、山西省廳は、六百萬冊以上の圖書とパンフレットを、公民教育の爲めに出版配布した。就中最も有力なものは「公民讀本」で配布部數實に二百七十萬冊を數へてゐる。

印 度

印度に於ける労働者教育の一事業

- 一 寄宿設備　ボンベイに於てアール・バーヴァン氏が、社会主義の傾向ある學生及社会主義者を父兄に持つ學生の爲めに、特に一つの寄宿舎を設けて、ボンベイに於ける諸大學の學生を收容してゐる。
- 二 財源　一萬五千磅に値する財産が、寄宿舎の爲めに寄附された。
- 三 學級　毎週學級が開かれ希望者は何人でも出席することが出来る。在籍學生數四十乃至五十名である。
- 四 講演會及圖書館　講演會も時に依て催され、舎内には社会民主圖書館が附屬してゐる。
- 五 講師招聘　講師はボンベイ大學卒業生を以て之に充てる。
- 六 其他の活動　寄宿學生の爲めに、社交を目的とする社会民主クラブの組織あり

パレスタイン

パレスタイン猶太労働總同盟教育部

- 一 創立　猶太労働總同盟は一九二〇年の創立にかゝる、従つて本教育部も同年から始まつたのであらう。
- 二 財源　本教育部は其の財源を主としてザイオニスト團體(猶太民族主義團體)に仰ぎ、其他各種の労働團體、聯盟、學會等よりも得てゐる。一九二四年中には一ヶ月約千二百磅を消費した。然るに本部の収入は月約八百磅であるから、一ヶ月凡そ四百磅の不足を生じたわけである。
- 三 學級　ヘブライ語の夜間學級を九つの地方に設く、内青年労働者に關する學級を擧ぐると。

場所

在籍學生數

ヤファ	九〇人
エルサレム	三〇
チベリス	一六
チクロン・ヤコブ	一一
合計	一四七人

此外、近く開校せんとする補習學校が二つある。

四 講演會

科學講演はテルアヅィヅとハイファとに於て行はれる「郷土物語」(Knowledge of the Land)に關する講演が六十八回あつた。巡回教授二名、エルサレムに住む専門教授一名が之に當る。歴史的、地誌的、人種學的及社會學的に重要な土地に、時々修學旅行が催される。之等の旅行には毎回參加者數百人に及ぶ。

五 圖書館

圖書三萬卷を有する中央圖書館は今や八十九の分館を有し、入場者三

千五百人乃至四千人に上る。讀書室及クラブを六都市に設く。

六 其他の活動

(一)兒童教育、小學校或は幼稚園又は兩者共十三地方に設けられ收容兒童三百四十三人に上つてゐる。(二)職業教育がテル、アヅィヅ及エルサレムに於て施さる。(三)土地勞働者組合、鐵道從業員組合の機關誌發行の援助。(四)諸種の職業のための簡易ヘブライ専門語辭典編纂。袖珍移民日常用語便覽の發行。

七 備考

圖書館、讀書室及學級等を通じて行はれた事業は、現在バレストアインに建設されつゝある小植民地の自主獨往と言ふ見地から頗る重要な使命を有してゐる。

濠 太 刺 利

ビクトリヤ勞働大學

- 一 創立 不明。
- 二 加入團體 各勞動團體及其支部、濠太刺利鐵道從業員聯盟。
- 三 財源 加盟勞動組合及支部にして、五百人以下の組合員を有する場合は年額一磅、五百人以上千人以下を有する場合は同二磅、千人以上千五百人以下の場合は同三磅、千五百人以上二千人以下の場合は同四磅、二千人以上の場合は同五磅の割を以て釀金する規定である。
- 四 研究會 濠太刺利勞動黨の各支部に於て組織されてゐる。
- 五 講演會 一週間三回夜間に開催。
- 六 學級及講演會 十科目より成立つ課程に於て組織されてゐる。
- 七 講師招聘 勞動運動奉仕者より。
- 八 圖書館 メルボルン勞動組合會館圖書館を利用す。
- 九 其他の活動 勞動組合會館入口に於て書籍販賣事業。

亞米利加合衆國

一 勞動者教育局

- 一 創立 一九二一年。
- 二 加入團體 (一)全國的(國內)及國際的(汎米)四十組合、會員數約二百萬人、アメリカ勞動者聯盟加入者の七十五%を占む。(二)亞米利加協同組合聯盟。四十の全國的及國際的組合中には、國際機械工協會、國際電氣工組合、蒸氣機關師及助手組合、國際製本工組合、鐵道乘務員組合、國際海員組合、塗工及貼工組合、國際印刷工組合、橋梁及建築鐵工組合、聯合坑夫組合、スウィッチ工組合、教師組合、聯合織物工組合、寫真板工組合、聯合雇人組合、合同鐵鋼錫工組合等を含むてゐる。

三 財源 團體の加入費、會員の會費、組合の寄附金、個人の寄附金、出版物の利益。本局の一九二二——二三年度に於ける總支出額は、一萬一千六百七十三弗であつた。

四 寄宿制労働大學 各平均十學級を有する斯種の大學三校あり。

(一)ブルックウッド労働大學(別項参照)。(二)全國婦人労働組合大學、在シカゴ市、労働組合指導者の訓練。(三)コムモンウエルス大學、ニューラノに在り、同地共同殖民地の労働者教育施設。

其他ジュラス労働者大學、スツベリオ湖畔に在り、「世界産業労働者組合」の經營。

五 非寄宿制労働大學 二十六校あり。各平均五學級を有す。此の内最も大規模なものは、一九一九年に創立せられたポストン労働組合大學である。本大學は、十月から四月迄に二十四週間開講し、尙ほ特殊産業の爲め専門講座も開いてゐる。學生數約四百名がある。

十四の協同組合は、組合員のため總べてで九拾名分の給費制度を設けてゐる。

其他の大學としては、ポートルランド(オレゴン州)學生數二百名。デンバー、コロラド・スプリング、グリーリ、ビユープロ、デス・モイネス、ミネヤポリス、セントポール、ロチエスター、ニューヨーク、ニューヘーブン等があるが、悉く労働者教育局に加入してゐるわけではない。

六 研究學級 學校組織にあらざる單獨學級が、凡そ二百の地方本部にて組織せられてゐる。(此の中には國際婦人服工組合の地方本部も含まれてゐる)

其他夏期學校、休日學校等。従つて是等の學級の總數は略々次の如くである。

寄宿制大學	三〇學級
非寄宿制大學	一三〇
研究學級	二〇〇
合計	三六〇學級

學生數は總計三萬人乃至四萬人である。最も同一の學生が多數の學級に出席し得るのであるから、自然學級數も學生數も重複してゐる事は免れない。

七 講演會 確實な統計がないから不明であるが、餘程内輪に見積つても出席者は凡そ二十五萬人に達する。

講演は集團教育の手段と目せられ、出席者一萬人の多きに上る事があり、通例討論會を催してゐる。

八 圖書館 勞働者貸出圖書館の設けがある。

九 講師招聘 直接勞働運動奉仕者からでなく、綜合大學、單科大學、高等學校の教授、其他講演家及専門家より招聘す。最も其の大多數は教師組合員である。

一〇亞米利加協同組合聯盟 アメリカに於ける消費者及協同組合員等の指導及相談本部で、八百以上の團體の會員を有し、勞働者教育局に参加し、月刊新聞及各種のパンフレットを發行す。又會員の技術訓練の爲に教育機關をも設けてゐる。

一一其他の活動 (一)諸種の相談及指導。(二)各種の報告、勞働者教育局は月刊雜誌「報告紹介New Service」及年四回定期刊行物「勞働者教育」を發行す。

(三)勞働組合の爲に、隔週毎に謄寫版印刷物を發行して組合の教育事業を援助す。

(四)通信。(五)教師の登録。(六)書籍共同購入事業。

一二 國際婦人服工組合

一 創立 一九一六年に組合教育部設けらる。

二 財源 一九一六年の例に依れば、教育費として一ヶ年五千弗を充當したが、一九一八年には一萬弗、一九二〇年には一萬五千弗、一九二二年には一萬七千五百弗に増額した。

三 非寄宿制勞働大學 本組合は、勞働者大學を紐育のワシントン・アーヴィング學校内と、組合の建物内とに設けてゐる。

四 學級

本組合は地方本部を、紐育市のプロンクス、マンハッタン、ブルックリンの三公立學校舎内に置く。

學級は之等三校舎内及労働大學に於て開かるゝの外、フィラデルフィヤ、シカゴ、クリーブランド、バルチモア、シンシナチ、ニューアーク、モントリオール、ウースター及ボストン等に於て設けられてゐる。但しボストン、フィラデルフィヤ、バルチモアに於ては、他の労働者教育團體と共同で經營してゐる。

五 在籍學生數

一九二二年——二四年に於ける紐育の學生數は、

労働者大學

一三、〇二四人

地方本部

九、〇七六

猶太人學級

四、六七四

露西亞人學級

二、〇六五

總計

二八、八三九人

一九二二年——一九二四年度紐育以外の在籍學生數は、

四、四一一人

又一九二二年——二四年度地方本部の英語學級在籍生徒數は、

一六二、四〇〇人

即ち二年間(一九二二——一九二四年)の學生數總計は十九萬五千六百五十人であつて、一ヶ年平均數は九萬七千八百二十五人である。特別學級も亦工場長や従業者のため設けられてゐる。

六 講演會

一九二二年——二四年に紐育に於て開かれた講演數は

國際婦人服工組合建物内

一、八一五回

體育保健に關するもの

二、〇五〇

猶太人講演會

四、七四三

合計

八、六〇八回

又一九二二——二四年に紐育以外の地に於て開かれた講演数は、

體育保健に關するもの

三二五回

總計

八、九三三回

社會科學に關する學生數は、通常二十名乃至五十名に過ぎないが、文學及心理學に關する學級は時として一百五十名に達する事がある。

研究會は未だ設けられてゐない。然し小學級及圓卓討論會は組合の事務所で開催する。此の場合には「題目」に應じて其の道の専門家を選り指導者となす。

七 圖書館 勞働者圖書館は設けられてゐない。たゞ有益な書物を卸値で組合員に頒布す。

八 講師招聘 勞働運動關係者からは招聘してゐないが、然し講師は勞働者に同情を持つ者に限られてゐる。

九 備考 (一)組合の學級には他の組合員の入學をも許してゐる。(二)各地方本部

は、各學級より二名の委員を選定し、學生評議員會を組織す。又學生委員會は三名の代表者を選定し事務執行委員會を組織す。

三 ブルックウツド寄宿制勞働大學

一 創立 一九二一年十月。

二 加入團體 本大學を後援する各種の勞働團體に依て維持せらる。

一九二二——二四年の初頭には、七の國際組合、六の國內聯盟、十二の都市本部、其他三十三の各種團體の後援を得た。本大學は、ブルックウツド協同組合員として(附近に住居し勞働しつゝある人々によつて成立してゐる)知られて居る有志團體によつて管理されてゐる。

此の團體は「協同勞働者委員會」の手段によつて勞働運動と接觸を保つてゐる。該委員會は次の諸團體の代表者十名を以て組織さる。

(一)シカゴ労働者聯盟、(二)ペンシルヴァニア労働者聯盟、(三)合同坑夫組合、(四)全國婦人労働組合聯盟、(五)亞米利加教師聯盟、(六)國際機械工組合、(七)國際織物工組合、(八)國際婦人服工組合、(九)鐵道事務員組合。

三 財源 (一)學生の授業料(年額二百弗) (二)各労働團體よりの奨學資金補助。(三)個人の寄附。

四 活動 本大學は八ヶ月を以て一期とする二個年講座である。労働組合に於て責任の地位にあつて、二年全部の修養を繼續する事の出来ない者には、八ヶ月を期間とする一年講座による特別教授を施す。現に産業労働に従事せざる者、或は少なくとも一ヶ年間労働組合員たざりし者は、特別の場合の外入學を許さず。

五 在籍學生數 一九二三年——二四年度學期の初めに於ける學生數は三十七名であつた。

六 講師招聘 大部分は労働組合員にして専門の講師(亞米利加教師聯盟會員)で

ある。

七 其他の活動 (一)一九二四年六月七日に二の夏期學校を開いた。會期一週間。

其の一は全國婦人労働組合聯盟との協同事業であつた。兩者共労働運動者、労働組合幹部其他に對しての特別教育を目的とした。(二)同年七月十三日、労働者教育に關する「一日會議」が催ふされた。之は労働組合本部、紐育及ビシニチー労働評議會、労働者教育局、ブルックウッド労働大學等の合同主催によつたものである。

四 紐育ランド社會科學學校

一 創立 一九〇六年。

二 加入團體 亞米利加社會主義者協會。

アメリカ労働者教育局では、労働組合に依つて支辯し管理される諸團體以外の加入を認めざる結果、アメリカ社會主義者協會が労働者教育局に加盟することを拒絶さ

れて居る、然し此の問題は更に考慮の餘地があるであらう。

三 財源 本校の年豫算額は約五萬弗である。収入としては授業料の約一萬七千弗及演藝會費三千弗とがあるが、其の不足額は他の財源から調節される。即ち授業料七十五弗及生活費毎週七弗づゝの四人分の奨學金を出してゐる個人があり、又特志寄贈者として日進協會もある。一方確實なる財源を得んがためペンシルヴァニアに勞働者休日集會所 (Camp Tamiment) が設けられた。之が創設のためには莫大なる費額を要したが、完成の曉には財源が確定されるであらう。

四 事業 學校は、毎年六ヶ月授業の二年制晝間部と、六ヶ月繼續授業の三年制夜間部とを開いてゐる。一九二三年に於ては四十一の各種講座を二十四人の専門講師に依つて開講した外多くの一般的講演をも催ふした。

五 學生 一九二三年度在籍學生總數は二千人以上であつた。

六 圖書館 學校附設の圖書館は藏書數七千卷を有し、最近 Eugene Debs にて蒐

集した貴重な圖書が寄贈せられた。

七 其他の活動

(一) 勞働調査部を置き、勞働及社會主義の智識に關する質問に答へ又亞米利加勞働年鑑をも刊行す。目下國際勞働及社會主義運動關係者名簿フースフ "Who Who" を編纂中である。(二) 書籍店經營、(三) 産業民主聯盟と協力して毎週土曜集會を催ふし、數人の優秀なる講師を聘して、時事問題講演會を開催す。

八 備考

(一) 紐育の各急進組合は、本校を組織する團體と提携して、共に教育事業を行はんとことを望んでゐる。之等の急進組合は合同編物工組合、小間物毛皮工組合、毛皮商組合、聯合衣服帽子工組合其他である。(二) 目下ランドスクールは、ビルディングの一部を使用してゐるのみである。是迄全ビルディングを以て寄宿制大學に充てんとして再三提案されたが、未だ其の實現を見ない。然し勞働者教育に對する興味彌々盛となり、期待された亞米利加勞働黨の成立は、遂にランドスクールが發達して、新社會制度の寄制宿大學となるのも遠くはあるまい。

五 其他の労働者教育機關

一 全國婦人労働組合聯盟

シカゴ市の寄宿制組合幹部訓練大學の外に、ニューヨーク、フェラデルフィヤ、ボストン、シカゴ其他六の産業中心地に其の支部を置き一九二四年七月ブルックウッドに労働會館を設けた。

二 ブリーンモリア婦人夏期學校

ブリーン・モリア大學側と、同校學生中の婦人労働者側との同数の代表者、並に數名の學校職員とよりなる聯合管理委員會によつて管理さる。

會期二ヶ月、

學生數百名

三 アムハースト労働者學級

本學級はアムハースト大學及一乃至二労働組合の代表者より成る聯合委員會によつて經營さる。

四 夏期學校

(一)デンバー附近ストロンシャ・スプリングの寄宿制夏期學校。

(二)ブルックウッド労働組合夏期學校。(三)ブルックウッド労働會館。(四)國際婦人服工組合本部休日學校。

— 完 —

協同會教務課發行

勞働者教育資料

- 勞働者教育の組織と經營 No. 1
- 成人勞働者教育の主張 No. 2
- 新成人勞働者教育論 No. 3
- 獨逸民衆大學の精神 No. 4
- 成人勞働輔導學級 No. 5
- 各國成人勞働者教育概況 No. 6

福利施設資料

- 勞働者教育及修養施設調査
- 本邦産業福利施設概要
- 産業福利施設概要
- 本邦工鑛業懇話會概要
- 新時代の工場監督者

大正十五年七月二十一日印刷
大正十五年七月二十三日發行

編輯者 物田太郎吉
發行所 財団法人協同會

印刷者 山田末一郎
印刷所 明立印刷株式會社

電話水石川五五六〇

290
46

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
LIBRARY
545 EAST 57TH STREET
CHICAGO, ILL. 60637
U.S.A.

終

